

福島県災害対策本部員会議（第26回）

日時 令和元年11月13日（水）

午後5時00分～

場所 北庁舎2階 危機管理センター

災害対策本部会議室

次 第

1 開会

2 議事

(1) 台風第19号等による被害状況と今後の対応について

(2) その他

3 閉会

台風第19号等に伴う福島県災害対策本部員会議 資料

(R1. 11. 13 17時 災害対策課)

10/12(台風)から33日め

10/25(大雨)から20日め

<大雨特別警報、気象警報の主な発令状況>

【令和元年10月12日 台風第19号】

- 10/12 14:09 大雨・洪水警報発令 → 段階的に県内全域に拡大
- 15:05 土砂災害警戒情報発令 → 段階的に県内に拡大
- 18:10 高潮警報
- 19:50 大雨特別警報 → 段階的に県内に拡大
- 10/13 04:00 高潮警報解除
- 04:35 大雨特別警報解除
- 14:20 土砂災害警戒情報解除
- 14:57 大雨警報解除
- 10/15 09:26 洪水警報解除 → 台風第19号に係る全ての気象警報等が解除

【令和元年10月25日 大雨・洪水警報】

- 10/25 15:34 洪水警報発令 → 段階的に浜通り、中通り等に拡大
- 16:39 大雨警報発令 → 段階的に浜通り、中通り等に拡大
- 16:57 土砂災害警戒情報発令 → 段階的に浜通り、中通り等に拡大
- 10/26 07:00 土砂災害警戒情報解除
- 09:28 大雨警報解除
- 16:24 洪水警報解除 → 大雨・洪水に係る全ての気象警報等が解除

<主な被害状況即報 (特に記載なければ11/13 13:00現在)>

避難所開設市町村数	7市町村 (△2)
避難所開設数	33か所 (△4)
受入避難者数	1,040人 (△106)
人的被害	
死者	32人 (±0) <small>内訳</small>
行方不明者	0人 (±0)
重傷者	1人 (±0)
軽傷者	58人 (±0)
住家被害	
床上浸水	10,931棟 (△1,159)
床下浸水	2,465棟 (△271)
全壊	553棟 (+245)
半壊	2,759棟 (+1,353)
一部損壊	1,954棟 (+1,039)

※ 数値は、10/12の台風第19号、10/25の大雨・洪水による被害の合計。

市町村名	報告数	増減
郡山市	6	±0
いわき市	8	±0
白河市	2	±0
須賀川市	2	±0
二本松市	2	±0
本宮市	7	±0
相馬市	2	±0
南相馬市	1	±0
飯舘村	1	±0
川内村	1	±0

<その他 (11/13 14:00までの情報)。過去1週間程度の情報を記載。>

- トヨタ自動車(株)からの車両無償貸与について、要望があった市町村への納車は11/7(木)から実施。
内訳は、郡山市(2台)、いわき市(10台)、相馬市(3台)、伊達市(10台)、石川町(2台)の4市1町、合計27台。(11/8)
- 被災者生活再建支援制度の市町村説明会(TV会議)を11/6開催。(11/8)
- 台風19号に伴う民間借上げ住宅及び住宅応急修理に関する市町村説明会(TV会議)を10/24開催。市町村で準備が整い次第受付を開始。(10/24)
11/11現在、民間借上げ住宅の受付は、福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、鏡石町、只見町、石川町、玉川村、飯舘村の18市町村(+3)で開始し、113件の入居を決定。
また、住宅応急修理の受付は、受付予定の全市町村(福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、鏡石町、天栄村、只見町、磐梯町、猪苗代町、西郷村、泉崎村、矢吹町、塙町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、小野町、広野町、川内村、浪江町、新地町)となる31市町村(+6)で開始し、573件の申し込みを受付。
- 11/12現在の「市町村別住家被害罹災証明書交付状況」をとりまとめ(別紙参照)。
- 被災者支援制度ガイドブック(令和元年台風第19号等災害)【別冊】を作成。
本ガイドブックは、被災市町村が被災者に対して支援制度を紹介するための基礎となる情報をまとめたもの。市町村ごとに、独自の支援制度や連絡先などを追加し、被災者支援のために活用してもらうことを想定。(11/8)
- 住まいに関する支援制度の周知を図るため、新たに、住まいの被災の程度別に受けられる支援についてのチラシ【別冊1(支援制度概要)、別冊2(被災程度別被災者生活再建支援金)】を作成し、市町村に提供するとともに県ホームページに掲載。
- 11/7(木)に開催された国の非常災害対策本部会で示された「対策パッケージ」については、今後、事業が具体化してから追加掲載予定。(11/8)
- 浸水区域において環境放射線モニタリングを継続して実施。
11月5日及び7日の調査では、空間線量及び泥土については県内7方部におけるこれまでの測定結果と同程度。大気浮遊じんについては、検出した値について被ばく評価を行い、年間追加被ばく線量の約3,100分の1との結果を確認。今後も調査地点を追加しながらモニタリングを実施。
- 伊達市から要望のあった物資について対応(インスタント味噌汁(500食。11/9納品済)、女性用下着(20着。11/11納品済)、ペーパータオル(30箱。11/12以降納品予定))。

令和元年11月13日

市町村別住家被害罹災証明書交付状況（11月12日18時00分現在）

No.	市町村名	初回住家被害罹災証明書交付				(参考) 初回住家被害認定調査		
		交付開始日 (予定)	申請受付件数 A	交付済件数 B	交付割合 B/A	調査開始日	調査終了 予定日	調査実施済 棟数
1	福島市	10月24日	1,070件	908件	84.9%	10月16日	11月30日	999棟
2	会津若松市	申請あり次第	0件	0件		申請あり次第		0棟
3	郡山市	11月2日	7,387件	712件	9.6%	10月24日	初回調査終了	7,501棟
4	いわき市	11月1日	12,894件	3,546件	27.5%	10月22日	初回調査終了	9,919棟
5	白河市	10月24日	83件	18件	21.7%	10月21日	11月15日	78棟
6	須賀川市	11月11日	1,528件	1,528件	100.0%	10月18日	初回調査終了	1,729棟
7	相馬市	10月30日	2,144件	1,637件	76.4%	10月15日	11月20日	2,317棟
8	二本松市	11月7日	130件	41件	31.5%	10月23日	11月15日	127棟
9	田村市	11月15日	154件	0件	0.0%	10月23日	初回調査終了	53棟
10	南相馬市	10月30日	415件	174件	41.9%	10月15日	11月29日	377棟
11	伊達市	11月1日	1,101件	483件	43.9%	10月16日	11月15日	1,039棟
12	本宮市	10月28日	1,150件	696件	60.5%	10月14日	11月中旬	1,000棟
13	桑折町	11月5日	13件	13件	100.0%	10月28日	初回調査終了	13棟
14	国見町	10月30日	19件	19件	100.0%	10月16日	初回調査終了	19棟
15	川俣町	11月8日	135件	85件	63.0%	10月23日	11月13日	109棟
16	大玉村	10月30日	6件	6件	100.0%	10月29日	初回調査終了	6棟
17	鏡石町	10月24日	85件	85件	100.0%	10月14日	初回調査終了	85棟
18	天栄村	10月15日	2件	2件	100.0%	10月15日	初回調査終了	2棟
19	下郷町	申請あり次第	0件	0件		申請あり次第		0棟
20	只見町	10月25日	4件	4件	100.0%	10月13日	初回調査終了	4棟
21	南会津町	10月30日	1件	1件	100.0%	10月18日	初回調査終了	4棟
22	磐梯町	申請あり次第	0件	0件		申請あり次第		0棟
23	猪苗代町	11月6日	31件	16件	51.6%	10月28日	11月22日	16棟
24	会津坂下町	10月23日	1件	1件	100.0%	10月23日	初回調査終了	1棟

令和元年11月13日

市町村別住家被害罹災証明書交付状況（11月12日18時00分現在）

No.	市町村名	初回住家被害罹災証明書交付				(参考) 初回住家被害認定調査		
		交付開始日 (予定)	申請受付件数 A	交付済件数 B	交付割合 B/A	調査開始日	調査終了 予定日	調査実施済 棟数
25	西郷村	10月29日	22件	22件	100.0%	10月15日	初回調査終了	22棟
26	泉崎村	11月15日	5件	0件	0.0%	10月23日	初回調査終了	5棟
27	中島村	11月1日	7件	7件	100.0%	10月18日	初回調査終了	13棟
28	矢吹町	11月5日	29件	6件	20.7%	10月28日	初回調査終了	29棟
29	棚倉町	11月5日	6件	6件	100.0%	10月23日	初回調査終了	6棟
30	矢祭町	10月16日	24件	24件	100.0%	10月13日	初回調査終了	31棟
31	塙町	10月15日	106件	106件	100.0%	10月13日	初回調査終了	106棟
32	石川町	11月12日	618件	233件	37.7%	10月28日	初回調査終了	605棟
33	玉川村	10月23日	45件	45件	100.0%	10月18日	初回調査終了	45棟
34	平田村	10月30日	6件	6件	100.0%	10月29日	11月29日	6棟
35	浅川町	10月29日	26件	20件	76.9%	10月23日	初回調査終了	27棟
36	古殿町	10月30日	7件	5件	71.4%	10月25日	11月29日	5棟
37	三春町	11月7日	15件	3件	20.0%	10月28日	11月29日	12棟
38	小野町	10月24日	27件	21件	77.8%	10月24日	初回調査終了	45棟
39	槽葉町	10月28日	1件	1件	100.0%	10月17日	11月15日	1棟
40	川内村	10月21日	10件	10件	100.0%	10月15日	11月30日	23棟
41	浪江町	11月15日	9件	8件	88.9%	10月29日	11月15日	8棟
42	新地町	11月7日	3件	2件	66.7%	11月1日	11月29日	3棟
43	飯館村	申請あり次第	0件	0件		申請あり次第		0棟
	計	—	29,319件	10,500件	35.8%	—	—	26,390棟

令和元年台風第19号等災害による被災者の住まいの支援制度の概要

令和元年11月11日現在

災害時の住家被害の程度 (損害割合)

全壊
(50%以上)

大規模半壊
(40%以上50%未満)

半壊
(20%以上40%未満)

一部損壊 (準半壊)
(10%以上20%未満)

一部損壊
(10%未満)

申込期限
令和元年12月2日
※必要に応じて延長
されることがある。

**民間賃貸住宅
借上げ制度
併用不可**

応急修理

対象：当面の日常生活が営み得ない、自らの資力をもってしては応急修理ができない方

全壊しても修理して
住み続ける場合対象
最大59.5万円分

最大59.5万円分

最大30万円分

対象外

※ 災害救助法が適用された55市町村における住家に限ります。
 ※ 市町村が発注し応急修理を実施します。自ら契約し支払いが完了した修理は対象外となります。
 ※ 借家にお住まいの方は、所有者が修理を行えない場合は対象となります。

基礎支援金
発災後
13ヶ月以内に
申請

100万円
〔単身世帯
75万円〕

50万円
〔単身世帯
37.5万円〕

※ やむを得ない事情で解体しなければならぬ場合
のみ、全壊と同様に扱います。

例)
・ 敷地修復のために解体せざるを得ない
・ 修繕費が著しく高額となる場合
等

+

加算支援金
再建方法に
応じた支援
発災後
37ヶ月以内に
契約し申請

新たに住宅を
建設・購入
200万円
〔単身世帯
150万円〕

元の住宅を
補修
100万円
〔単身世帯
75万円〕

賃借
(民間)
50万円
〔単身世帯
37.5万円〕

※ 公営住宅(民間借上げ住宅を含む)に入居している間は、
加算支援金の対象外です。

【加算支援金について】

一旦住宅を賃借した後、自ら居住する住宅を
建設・購入(補修)場合は、
・ 賃借時に50万円(単身世帯には37.5万円)
・ 建設・購入(補修)時に差額の150(50)万円
(単身世帯は112.5(37.5)万円)を支給します。

【お問い合わせ】
各市町村の窓口へご相談ください。

令和元年台風第19号等災害による被災者の住まいの支援制度の概要

令和元年11月11日現在

災害時の住家被害の程度

市町村営住宅
 県営住宅
 復興公営住宅
 震災応急仮設住宅 等

原則
3ヶ月入居
 ※詳細情報は各自治体HPへ

公営住宅

民間賃貸住宅 借上げ

原則
1年間の供与

令和元年10月12日
 (被災時)に災害
 救助法が適用され
 た市町村に居住し
 ていること。

応急修理制度
 併用不可

民間賃貸住宅借上げ

住居の提供支援メニュー

全壊

対象：自らの資力で住宅を得ることができない、継続的な居住が困難な方

大規模半壊

半壊

一部損壊(準半壊)、床上浸水他

【使用料】
 ・住宅・駐車場の使用料は免除
 ・退去の際の修繕費用は免除(使用者の故意または過失による毀損等は除く)
 ・光熱水費、公営費、リース料、自治会費は使用者の負担

【住まい・駐車場】
 ・県や市町村のホームページをご確認ください。
 ・駐車場は住宅の提供と併せ、1区画分

【対象者】
 ①住宅確保ができない
 ②応急修理制度を利用していない

【対象者】
 ①住宅として利用・居住できない(※1)
 ②住宅確保ができない
 ③応急修理制度を利用していない

1ヶ月以上住居に居住できないと市町村長が認める場合
 ・二次災害により住宅に被害が起る恐れがある
 ・ライフラインが途絶
 ・地滑り等により避難指示を受けている 等

【対象者】
 ①住宅確保ができない
 ②応急修理制度を利用していない

【借上げ対象住宅とは】
 ・県が借上げ、提供することに貸主が同意した住宅
 ・①昭和56年以降建設された住宅(対象世帯が5名(乳幼児除く)以上は9万円以下/1ヶ月)
 ・家賃が6万円以下/1ヶ月

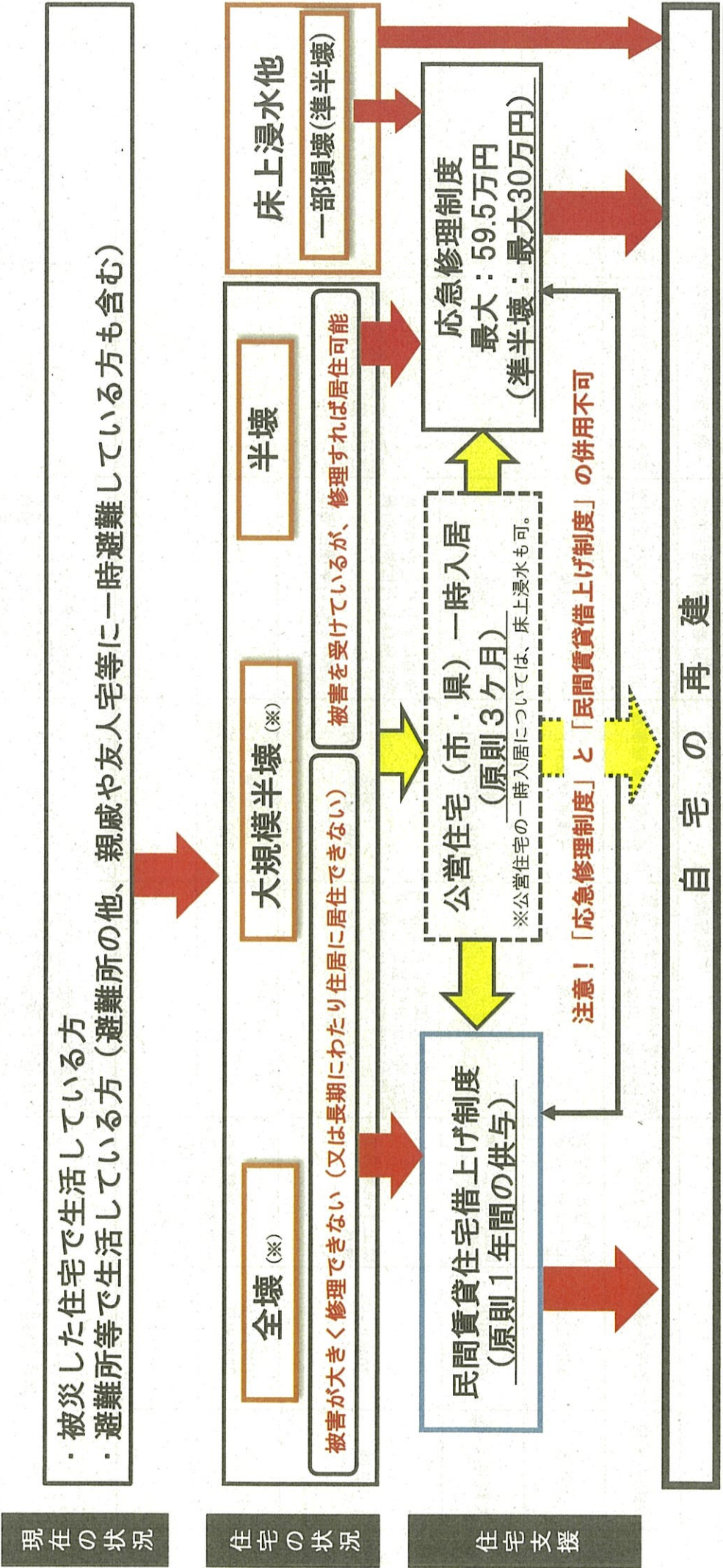
【費用について】
 (入居者負担)
 ・光熱水費/管理費/共益費/駐車場費/自治会費
 →家賃+※の合計額(駐車場は1台分)が家賃上限額を超えない場合は、県が負担。
 ・入居者の故意または過失による損壊に対する修繕費用(県負担)
 ・家賃/礼金(家賃の1ヶ月分を限度)/仲介料(家賃の0.55ヶ月分を限度)/退去修繕負担(家賃の2ヶ月分)/入居時鍵交換費用
 なお、損害保険料(家財保険は除く)は県が一括加入

【お問い合わせ】
 各市町村の窓口へご相談ください。

※1 流入した土砂や流木等を除去し、床、壁、衛生設備等を修理し、清掃、消毒等を行えば居住できるような場合は対象となりません。

令和元年台風第19号等災害による被災者の住まいの支援制度の概要

令和元年11月11日現在



※「全壊」「大規模半壊」については、「被災者生活再建支援制度」も該当します。

【お問い合わせ】
各市町村の窓口へご相談ください。

令和元年台風第19号等災害による被災者の住まいの支援制度の概要

令和元年11月11日現在

損壊の種類		住宅の損害割合		浸水深等		災害救助法		被災者生活再建支援法		県が管理する住宅等への一時避難（3か月）	
全壊	50%以上	住宅の損害割合	新たに県が借り上げる応急仮設住宅（民間借上住宅）	住宅の応急修理制度 （原則対象外）	被災者生活再建支援制度	既存の建設型仮設住宅	県営住宅、災害公営住宅	対象	対象	対象	対象
	40%以上	住宅の損害割合	水害により流入した土砂や流木等により住宅としての利用ができない方は対象	対象 （595,000円以内）	対象 （595,000円以内）	半壊によりやむを得ず住宅を解体した世帯は対象 （解体しない半壊住宅は対象外）	併用可	対象	対象	対象	対象
	20%以上	住宅の損害割合	水害により流入した土砂や流木等により住宅としての利用ができない方は対象	対象 （595,000円以内）	対象 （300,000円以内）	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可
一部損壊	10%以上 20%未満	住宅の損害割合	併用不可。 （応急修理制度は、日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理することと、元の住居に引き継ぎ住んでいただくことを目的としているため。）	対象 （300,000円以内）	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可
	10%未満	住宅の損害割合	併用不可。 （応急修理制度は、日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理することと、元の住居に引き継ぎ住んでいただくことを目的としているため。）	対象 （300,000円以内）	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可	併用可

※県が新たに借り上げる応急仮設住宅については、二次災害等により住宅が被害を受けるおそれのある、ライフラインが途絶しているなど、長期（1か月以上）にわたり自らの住居に居住できないと市町村が認める方も対象。

※被災者生活再建支援法では、半壊住宅をやむを得ず解体した場合に加え、住宅の敷地に被害が生じ、その住宅をやむを得ず解体した場合も対象。

被害の程度が「全壊」と証明された方用

被災した住居を...

①【修理して住む】

住宅応急修理制度の利用が可能
(最大59.5万円支援)

※民間賃貸借上住宅制度は利用できません

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間
アパート

将来の住居

修理した住居

200万円を支給
(単身世帯は150万円)

基礎支援金
100万円

加算支援金(※)
100万円

※加算支援金は住宅応急修理制度とは別に、自ら契約して修理している場合に該当します。

【加算支援金について】

- 一旦住宅を賃借した後、自ら居住する住宅を建設・購入（補修）する場合は、
- ・賃借時に50万円（単身世帯には37.5万円）
- ・建設・購入（補修）時に差額の150（50）万円（単身世帯は112.5（37.5）万円を支給します。

被災者
生活再建
支援金

【申請期限】

- ・基礎支援金
令和2年11月11日
- ・加算支援金
令和4年11月11日

②【修理しない】

※住宅応急修理制度は利用できません

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

その他住居
(借上げ住宅制度を利用
しない民間アパート等)

民間賃貸借上住宅制度

※原則1年間
※4人までの世帯：上限6万円
※5人以上の世帯：上限9万円

将来の住居

新たに住宅を
建設・購入

民間アパートを
賃貸

公営住宅を
賃貸

300万円を支給
(単身世帯は225万円)

基礎支援金
100万円

加算支援金
200万円

150万円を支給
(単身世帯は112.5万円)

基礎支援金
100万円

加算支援金
50万円

100万円を支給
(単身世帯は
75万円)

基礎支援金
100万円

【お問い合わせ】

各市町村の窓口へ
ご相談ください

被害の程度が「大規模半壊」と証明された方用

被災した住居を...

①【修理して住む】

住宅応急修理制度の利用が可能
(最大59.5万円支援)

※民間賃貸借上住宅制度は利用できません

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間
アパート

将来の住居

修理した住居

150万円を支給
(単身世帯は112.5万円)

基礎支援金
50万円

加算支援金(※1)
100万円

※1 加算支援金は住宅応急修理制度とは別に、自ら契約して修理している場合に該当します。

【加算支援金について】

- 一旦住宅を賃借した後、自ら居住する住宅を建設・購入(補修)する場合は、
- ・賃借時に50万円(単身世帯には37.5万円)
- ・建設・購入(補修)時に差額の150(50)万円(単身世帯は112.5(37.5)万円)を支給します。

②【修理しない】

※住宅応急修理制度は利用できません

当面の住居

その他住居
(借上げ住宅制度を利用しない民間アパート等)

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間賃貸借上住宅制度

※原則1年間
※4人までの世帯；上限6万円
※5人以上の世帯；上限9万円

将来の住居

新たに住宅を
建設・購入

民間アパートを
賃貸

公営住宅を
賃貸

250万円を支給
(単身世帯は187.5万円)

基礎支援金
50万円

加算支援金
200万円

100万円を支給
(単身世帯は75万円)

基礎支援金
50万円

加算支援金
50万円

50万円を支給
(単身世帯は37.5万円)

基礎支援金
50万円

※やむを得ない事情で解体した場合は「全壊」と同様に取扱います。
(被害の程度が「全壊」と証明された方用のチラシをご参照ください。)

【お問い合わせ】

各市町村の窓口へ
ご相談ください

被災者 生活再建 支援金

【申請期限】

・基礎支援金

令和2年11月11日

・加算支援金

令和4年11月11日

2

被害の程度が「半壊」と証明された方用

被災した住居を...

①【修理して住む】

住宅応急修理制度の利用が可能
(最大59.5万円支援)

※民間賃貸借上住宅制度は利用できません

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間
アパート

将来の住居

修理した住居

対象外
(非該当)

被災者
生活再建
支援金

【申請期限】

・基礎支援金

令和2年11月11日

・加算支援金

令和4年11月11日

②【修理しない】

※住宅応急修理制度は利用できません

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間賃貸借上住宅制度

※原則1年間

※4人までの世帯；上限6万円

※5人以上の世帯；上限9万円

将来の住居

新たに住宅を
建設・購入

民間アパートを
賃貸

公営住宅を
賃貸

対象外
(非該当)

※やむを得ない事情で解体した場合は「全壊」と同様に取扱います。
(被害の程度が「全壊」と証明された方用のチラシをご参照ください。)

【お問い合わせ】

各市町村の窓口へご相談ください

被害の程度が「一部損壊（準半壊）」又は「一部損壊」と証明された方用

被災した住居を...

① 【修理して住む】

【一部損壊（準半壊）】

⇒ 住宅応急修理制度の利用が可能
(最大30万円支援)

【一部損壊】

⇒ 住宅応急修理制度は利用できません

※民間賃貸借上住宅制度は利用できません

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間
アパート

将来の住居

修理した住居

対象外
(非該当)

被災者
生活再建
支援金

【申請期限】

・基礎支援金

令和2年11月11日

・加算支援金

令和4年11月11日

【お問い合わせ】

各市町村の窓口へご相談ください

② 【修理しない】

当面の住居

公営住宅
震災応急仮設住宅
賃料無償、原則3ヶ月

被災した住居の二階
親類等の住居
避難所等

民間
アパート

将来の住居

新たに住宅を
建設・購入

民間アパートを
賃貸

公営住宅を
賃貸

対象外
(非該当)

台風第19号等による土木施設の被害状況及び対応状況

令和元年11月13日(水)

土木部

14時30分現在

1 道路の通行規制箇所の対応状況

(1) 県管理道路の通行止め(11/13 13:00 現在)

全通行止め箇所 : 378箇所発生

うち通行止め解除 : 346箇所

うち通行止め継続 : 32箇所

(2) 通行止め継続32箇所の解除見込み

1) 解除見込み

① 応急対策実施後、解除見込み 4箇所

② 当分の間通行止め(本復旧までのもの含む) 28箇所

別紙1-1 台風19号等による通行規制一覧表(p9~10)

2) 主要な道路の対応

① 国道115号(相馬市山上~東玉野) : 10月12日通行止め開始、大規模に被災しているため当分の間通行止め

② 原町川俣線(原町区大原不動滝~飯館村大字八木沢) : 10月25日通行止め開始、11月2日通行止め解除

③ いわき石川線(いわき市遠野町 外) : 10月12日通行止め開始、11月2日通行止め解除

④ 国道289号(いわき市田人町) : 10月12日通行止め開始、大規模に被災しているため当分の間通行止め、直轄権限代行による応急工事を実施中

国道289号(只見町大字黒谷) : 10月13日通行止め開始、11月8日15時通行止め解除

⑤ 国道349号(伊達市梁川町) : 10月12日通行止め開始、安全な通行の確保に向け、宮城県との県境部を応急工事実施中

別紙1-2 台風19号等による基幹道路の通行止め箇所(p11)

3) 国による権限代行

国による権限代行の要望を行っていた国道289号(いわき市)について、10月29日に国による権限代行が決定し、同日から土砂や倒木の処理を実施している。

国交省、林野庁及び県で復旧工法等、今後の対応について協議を進めている。

- 4) 県による高地原橋（矢祭町）の復旧工事の受託
矢祭町から支援要請のあった高地原橋について、本橋の復旧工事を受託するとともに、仮橋工事の工事監督業務を支援する。

2 河川の被害状況及び対応状況

(1) 現状

- ・ 県管理河川の破堤情報
49箇所（23河川 17市町村）
- ・ 16箇所は、国の権限代行に移行した。

(2) 県施工の対応 33箇所（15河川 10市町）

- ・ 応急対策箇所の33箇所（15河川、10市町）は、応急対策済み。(11/7)
(25日からの豪雨によって土のう等が流出した箇所も全箇所対策済み)

(3) 国による権限代行の対応 16箇所（8河川 8市町村）

- ・ 国による権限代行の要望を行っていた阿武隈川本川及び支川の8河川16箇所の応急復旧について、10月25日に国による権限代行が決定し、26日から工事を実施している。
- ・ 国土交通省は、全箇所（16箇所）で着手し、11月12日までに6箇所完了した。
(施工状況は、別紙2-2のとおり)

別紙2-1 台風19号等による河川堤防の破堤箇所（p12）

別紙2-2 破堤が確認された河川一覧（県管理河川）（p13）

3 土砂災害の発生状況及び対応状況

(1) 現状 (対策を検討する箇所：合計30箇所)

〈がけ崩れ 26箇所 (7市3町)〉

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1) 福島市佐原字松大坂地内 | 14) 白河市大和田畑田地内 |
| 2) 福島市飯坂町湯野字東愛宕地内 | 15) 白河市小田川仲丸地内 |
| 3) 二本松市百目木字下名目津地内 | 16) 相馬市山上字落合地内 |
| 4) 二本松市木幡字下境地内 | 17) 広野町折木字東下地内 |
| 5) 郡山市田村町細田字宿地内 | 18) いわき市小川町高萩字鹿野地内 |
| 6) 田村市常葉町久保字音沢地内 | 19) いわき市平谷川瀬字田中内地内 |
| 7) 田村市船引町北移字東鳥堂地内 | 20) いわき市三和町差塩字東作地内 |
| 8) 三春町過足字岩ノ入地内 | 21) いわき市好間町榊小屋字生木葉地内 |
| 9) 三春町字新町地内 | 22) いわき市三和町下三坂字川田地内 |
| 10) 小野町上出羽庭字辻ノ内地内 | 23) いわき市平旧城跡地内 |
| 11) 白河市菖蒲沢地内 | 24) いわき市内郷宮町滝地内 |
| 12) 白河市土武塚地内 | 25) いわき市常磐湯本町傾城地内 |
| 13) 白河市合戦坂地内 | 26) いわき市好間町北好間字籬地内 |

〈土石流等 4箇所 (2市)〉

- 1) 南相馬市鹿島区榎原字上萱地内
- 2) いわき市川前町川前字櫛立地内
- 3) いわき市三和町上市萱字諏訪地内
- 4) いわき市三和町下市萱字竹ノ下地内

(2) 対応

・被災状況や斜面状況の確認済箇所は、速やかに対策の実施について検討する。

※土砂崩れ等発生箇所市町村別件数 (145件・11月13日現在)

1) 福島市	7件	12) 白河市	9件
2) 伊達市	16件	13) 棚倉町	2件
3) 川俣町	2件	14) 鮫川村	1件
4) 二本松市	5件	15) 相馬市	8件
5) 郡山市	1件	16) 南相馬市	7件
6) 田村市	7件	17) 広野町	2件
7) 三春町	5件	18) 葛尾村	2件
8) 小野町	2件	19) 川内村	4件
9) 天栄村	2件	20) 飯舘村	18件
10) 石川町	1件	21) いわき市	43件
11) 平田村	1件		

別紙3 土砂崩れ等発生箇所一覧 (p14~15)

4 県北浄化センターの被災状況及び対応状況

(1) これまでの主な経緯

- ・10/13 台風 19 号降雨で滝川が破堤、県北浄化センターが水没し機能不全となった。
- ・10/14 水没解消のため、国と県によるポンプ排水を実施した。
- ・10/15 緊急措置として塩素消毒による放流処理を開始した。
- ・10/25 既存の水処理施設を利用した汚水の応急処理を開始した。
- ・10/28 「北海道・東北ブロック下水道災害時支援に関するルール」に基づき、国土交通省1名、仙台市1名、宮城県2名、計4名の支援を受けた。

(2) 対応

1) 緊急措置（消毒）（10/15 開始）

2) 応急復旧（沈殿⇒（簡易処理）⇒消毒）

- ① 既存の水処理施設を利用した応急処理（沈殿⇒消毒）（10/25 済）
- ② 水処理施設、管廊等施設内に堆積したヘドロ等を除去、清掃（対応中）
- ③ 簡易処理の実施に向け、施設点検、被害状況を把握（対応中）
- ④ 簡易処理計画を策定し、①の処理に簡易処理を追加

3) 本復旧（最初沈殿池⇒反応タンク⇒最終沈殿池）

- ① 施設機能の段階的な回復を含めた復旧計画を策定
- ② 復旧工事の実施

5 県営住宅の被災状況及び対応状況

(1) 現状

被害発生団地18団地うち復旧未了5団地

被害内容	被害発生時	現状 (11月13日時点)
床上浸水	5団地 144戸 壁沢団地 [川俣町] 10戸 沖の内団地 [相馬市] 4戸 平赤井団地 [いわき市] 17戸 叶田団地 [いわき市] 56戸 鯨岡団地 [いわき市] 57戸	—
床下浸水	3団地 高倉団地 [郡山市] ほか	—
土砂の団地内流入	9団地 壁沢団地 [川俣町] ほか 沖の内団地 [相馬市] 叶田団地 [いわき市]	2団地 土砂搬出済 沖の内団地 土砂搬出中 叶田団地 土砂搬出中
浄化槽故障	5団地 769戸 壁沢団地 [川俣町] 12戸 平赤井団地 [いわき市] 51戸 鯨岡団地 [いわき市] 154戸 叶田団地 [いわき市] 280戸 北好間団地 [いわき市] 272戸	全て復旧済 (鯨岡団地復旧)
EV停止	9団地 15基 島団地ほか5団地 [郡山市] 11基 南町団地 [南相馬市] 1基 平赤井団地 [いわき市] 2基 滝尻団地 [いわき市] 1基	1団地 2基 復旧済 復旧済 平赤井団地 (3階建) 2基 復旧済

(2) 対応

- 1) 床上浸水箇所について、別の県営住宅への移転等、個別に対応中
- 2) 土砂の団地内流入 堆積土砂搬出中
- 3) 浄化槽故障 全て仮復旧済
- 4) EV停止 復旧対応中 (支障世帯へは移転等個別に対応中)

6 県営住宅及び復興公営住宅の一時的な提供

- (1) 提供対象者 台風19号等により住宅が被災(罹災証明が全壊、大規模半壊、半壊、床上浸水)し継続的な居住が困難となった方
※収入基準要件、同居親族要件は問わない。

(2) 募集状況

【県北、県中、相双地区】

募集結果

団地所在地	第1次決定戸数	第2次決定戸数	合計
県北地区	18戸	3戸	21戸
県中地区	29戸	30戸	59戸
相双地区	10戸	2戸	12戸
合計	57戸	35戸	92戸

【いわき地区】

第1次募集結果 受付期間 令和元年10月25日(金)～31日(木)

提供住戸	提供戸数	申込件数	決定戸数
市営住宅	21戸	21件	20戸
市災害公営住宅	94戸	239件	70戸
県復興公営住宅	140戸	656件	96戸

第2次募集中 提供住戸 市営住宅 1戸 市災害公営住宅 24戸
県復興公営住宅 44戸

受付窓口	受付期間	開設時間
市文化センター3階 大会議室	11月12日(火)～17日(日)	9時から17時

第1次募集の落選者は、郵送による応募で受付

抽選日 令和元年11月20日(水)

- (3) 提供期間 3ヶ月(被災した住宅の修繕、復旧状況により延長あり)
- (4) 使用料 無償(電気、ガス、水道代、共益費、給湯器等のリース料は自己負担)
- (5) その他 一時的な避難を行った者のうち公営住宅法等の入居資格者要件に該当する者で、さらに継続して入居を希望する者については、災害による特定入居として正式入居へ移行することも可とする。

7 応急仮設住宅の一時的な提供

- (1) 提供対象 台風19号により住宅が被災した方に、一時的な避難所として既存
 応急仮設住宅の空き家を提供
- (2) 対象者 住宅が被災し一時避難を余儀なくされている方

	所在地	団地名	提供戸数	使用戸数	提供先	
1	郡山市	南一丁目	130	<u>16</u>	郡山市	
2		富田町若宮前	265	<u>4</u>		
3		日和田町高倉	110			
4		喜久田町早稲原	60	<u>2</u>		
5	いわき市	泉	120		いわき市	
6		好間工業団地第三	80			
7	伊達市	伏黒	60	8	伊達市	
8	本宮市	恵向	100	<u>63</u>	本宮市	
9	相馬市	大野台第六	160		相馬市	
10	南相馬市	高見町第一	70		南相馬市	
11		牛越		270	<u>11</u>	南相馬市
				100	<u>2</u>	相馬市
合 計			1,525	<u>106</u>		

提供日 令和元年10月19日(土)

- (3) 利用者の決定 応急仮設住宅の提供を受けた市において、利用者を決定する。
- (4) 提供期間 3ヶ月(被災した住宅の修繕・復旧の状況により最長令和2年3月末まで延長)
- (5) その他 提供する応急仮設住宅には、経年劣化や長期間空き家であったことによる汚損が見られるほか、住宅設備がありません。
- (6) これまでの対応
- ・各市へ計1,232戸分の住戸の鍵を提供済み。
 - ・11月13日現在の使用者は106戸。
- (7) 今後の取り組み
- ・被災市に対して、速やかな使用開始に向け支援していく。

8 公共土木施設等の被害状況

(1) 公共土木施設等の被害状況 (11月7日(木)現在)

対象施設：道路、橋梁、河川、海岸、砂防、下水、港湾、漁港、公園 ほか

1) 台風第19号

- ・ 県被害額等
1,853箇所、C= 104,195百万円
- ・ 市町村被害額等 (43市町村)
1,204箇所、C= 32,449百万円
- ・ 県、市町村合計
3,057箇所、C= 136,644百万円

2) 10月25日から26日にかけての豪雨

- ・ 県被害額等
73箇所、C= 877百万円
- ・ 市町村被害額等 (6市町)
86箇所、C= 1,398百万円
- ・ 県、市町村合計
15.9箇所、C= 2,275百万円

被害額合計

- ・ 県被害額等
1,926箇所、C= 105,072百万円
- ・ 市町村被害額等 (45市町村[※])
1,290箇所、C= 32,137百万円
※市町村数の45市町村は、1)、2)の重複あり。
- ・ 県、市町村合計
3,216箇所、C=138,919百万円

(2) 災害査定

- ・ 国による災害査定に着手した。

令和元年災3次査定：11月12日～13日

福島県：河川災2件、道路災2件

猪苗代町：道路災1件

合計：5件

台風19号等による通行規制一覽表

別紙1-1

①応急対策実施後、解除見込み

通行規制の内訳は、解除済み3箇所・規制中32箇所

②当分の間通行止め

整理 No.	様式 番号	管内1	管内2	種 別	路線 番号	路 線 名	通 行 止 区 間		延長 (km)	解除見込み	備 考
							起 点	終 点			
1	28	県北	保原	国	349	国道349号	伊達市梁川町五十沢	伊達市梁川町五十沢	0.7	②	
2	65	県北	保原	一	102	平松梁川線	伊達市梁川町白根字横津	伊達市梁川町白根字雁田	~1.5	②	
3	58	県北	二本松	主	73	二本松金屋線	本宮市和田字江口	本宮市高木字長畑	5.2	②	
4	81	県北	二本松	一	303	石沢萩田線	二本松市太田字上向田	二本松市太田字上川前	1.0	②	
5	262	県北	二本松	一	303	石沢萩田線	二本松市東新殿字深谷	二本松市東新殿字小切沢	1.0	②	
6	19	県北	二本松	一	380	岳温泉大玉線	二本松市永田字坂口国有林	大玉村大字玉井字前ヶ岳国有林	5.0	②	
7	20	県北	二本松	一	380	岳温泉大玉線	大玉村大字玉井字前ヶ岳国有林	大玉村大字玉井字前ヶ岳国有林	6.4	②	
8	309	県中	県中	主	40	飯野三善石川線	郡山市田村町栃本河ウツ	須賀川市塩田菅蒲沢	2.7	①	
9	61	県中	県中	主	67	中野須賀川線	郡山市湖南町中野字諏訪峠	須賀川市梅田字大塔	7.3	②	
10	311	県中	県中	主	73	二本松金屋線	郡山市大平町	郡山市大平町	0.2	②	
11	219	県中	須賀川	一	138	母畑須賀川線	須賀川市小作田字西端	須賀川市和田字大仏前	0.4	②	
12	5	県中	須賀川	一	372	須賀川二本松自転車道線	須賀川市塩田洞川岸	須賀川市下小山田	0.5	②	
13	17	県中	石川	一	135	三株下市萱小川線	古殿町大字松川字滝ノ平	古殿町大字松川字大原	5.0	①	
14	4	県中	石川	一	372	須賀川二本松自転車道線	玉川村字竜崎	玉川村字竜崎	0.5	①	
15	284	県南	県南	一	278	釜子金山線	白河市表郷社田	白河市表郷社田	0.1	②	
16	319	県南	県南	一	280	中野番沢線	白河市表郷中野	白河市表郷岩松	0.5	②	
17	160	県南	棚倉	一	111	高萩端線	端町大字木野反	端町大字山形	3.0	②	
18	75	県南	棚倉	一	377	八津山線	棚倉町大字戸中	棚倉町大字大梅	10.5	②	
19	263	会津若松	会津若松	主	59	会津若松三島線	会津若松市北会津本田	会津若松市北会津野辺	1.8	②	
20	207	南会津	山口	国	289	国道289号	只見町大字黒谷	只見町大字福井	2.0	解除済み	
21	14	南会津	山口	一	350	栗山綿岩線	南会津町田代山	南会津町水引	13.9	②	
22	53	相双	相双	国	115	国道115号	相馬市山上字滝平	相馬市東玉野字町	11.5	②	
23	339	相双	相双	国	115	国道115号	相馬市西山字表西山	相馬市西山字表西山	0.1	解除済み	
24	39	相双	相双	主	49	原町浪江線	南相馬市原町区馬場字滝	浪江町大字屋菅根字尺石	9.9	②	
25	1	相双	相双	一	228	相馬大内線	相馬市初野字羽黒	宮城県境	1.3	②	
26	38	相双	相双	一	267	大芦鹿島線	南相馬市原町区大原字大芦	南相馬市鹿島区樽原字釜灰	2.8	②	
27	37	相双	相双	一	268	草野大倉鹿島線	飯館村大字草野字服田川	飯館村大字大倉字木戸木	3.6	②	

台風19号等による通行規制一覧表

別紙1-1

- ①応急対策実施後、解除見込み
- ②当分の間通行止め

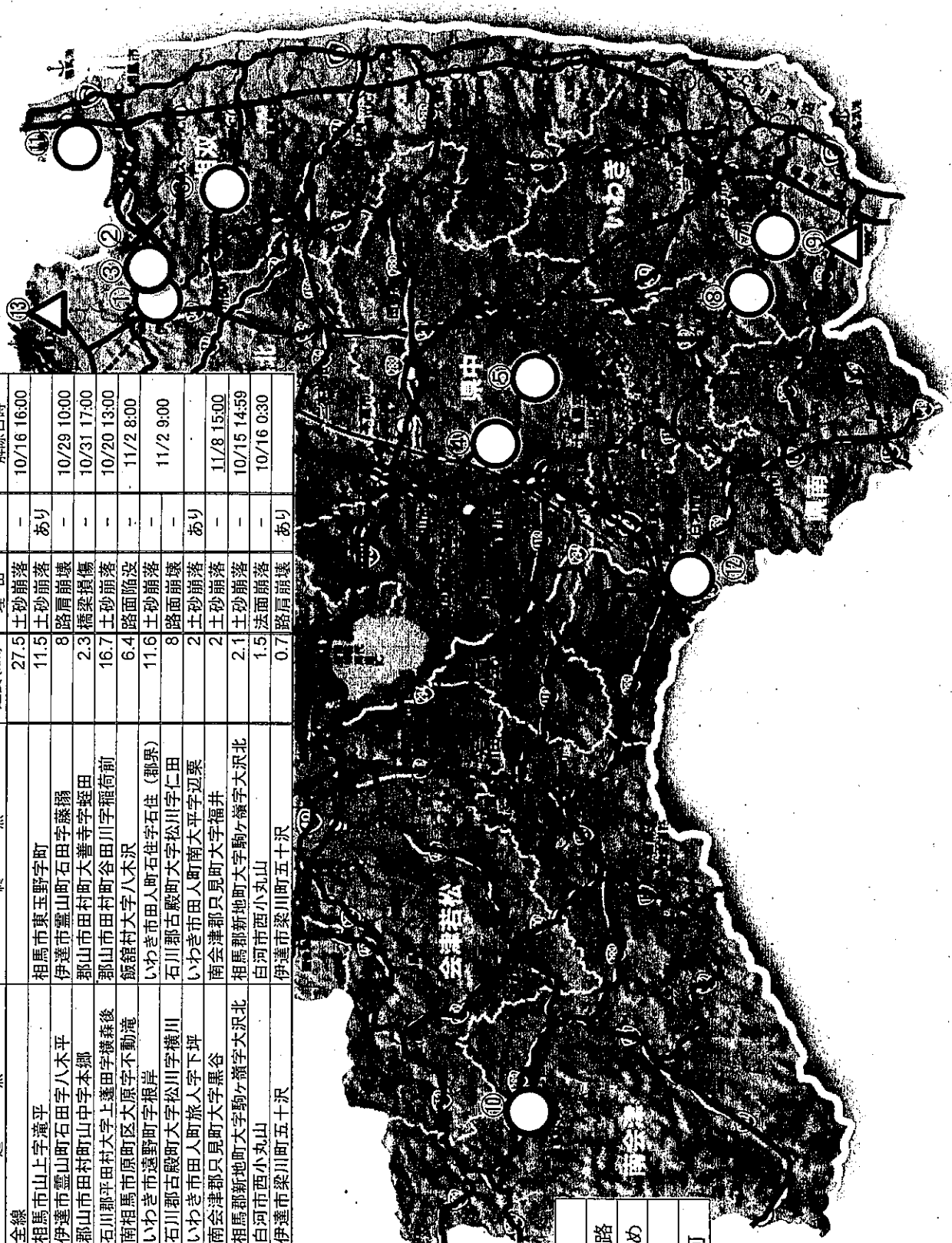
通行規制の内訳は、解除済み3箇所・規制中32箇所

整理 No.	様式5 番号	管内1	管内2	種 別	路線番号	路線名	通行止		延長 (km)	解除見込み	備考
							起 点	終 点			
28	6	相双 いわき	高岡 いわき	—	249	上戸渡広野線	いわき市小川町上小川小川山国宥林	広野町大字上浅見川字繁平	10.0	②	
29	273	いわき	いわき	—	135	三株下市萱小川線	いわき市三和町下市萱字新田	いわき市三和町下市萱字新田	0.1	②	
30	328	いわき	いわき	—	287	上川内川前線	いわき市川前町下笹売字高部	いわき市川前町川前字櫛立	3.0	②	
31	46	いわき	いわき	—	358	川前停車場上三坂線	いわき市川前町川前字根尻	いわき市三和町差塩字堀添	2.9	②	
32	70	いわき	勿来	国	289	国道289号	いわき市田人町旅人字下坪	いわき市田人町南大平字刈栗	2.0	②	
10月25日の大雨洪水警報											
1	5	相双	雷岡	—	250	下川内竜田停車場線	双葉郡川内村下川内熊ノ坪	檜葉町大字乙二郎	7.0	①	
2	7	いわき	いわき	—	246	折木箇木原久之浜線	いわき市大久町大久字脇	いわき市大久町大久字瀧尻	0.7	解除済み	
3	37	相双	相双	—	264	馬場太田線	南相馬市原町区上太田字前田	南相馬市原町区上太田字陣が崎	0.6	②	

台風第19号等による基幹道路の通行止め箇所【道路管理課】別紙1-2

令和元年11月13日 14:30現在

路線名	通行止区間		終点	通行止区間延長(km)	規制理由	迂回路	備考 解除日時
	起点	区間					
① 相馬福島道路	全線			27.5	土砂崩落	-	10/16 16:00
② 国道115号	相馬市山上字滝平		相馬市東玉野字町	11.5	土砂崩落	あり	
③ 国道115号	伊達市霊山町石田字八木平		伊達市霊山町石田字藤棚	8	路肩崩壊	-	10/29 10:00
④ 国道49号	郡山市田村町山中字本郷		郡山市田村町大善寺字蛭田	2.3	橋梁損傷	-	10/31 17:00
⑤ 国道49号	石川郡平田村大字上蓬田字横森後		郡山市田村町谷田川字福向前	16.7	土砂崩落	-	10/20 13:00
⑥ 原町川堤線	南相馬市原町区大原字不動滝		鏡筒村大字八木沢	6.4	路面陥没	-	11/2 8:00
⑦ いわき石川線	いわき市遠野町字根岸		いわき市田人町石住字石住(郡界)	11.6	土砂崩落	-	
⑧ いわき石川線	石川郡古殿町大字松川字横川		石川郡古殿町大字松川字仁田	8	路面崩壊	-	11/2 9:00
⑨ 国道289号	いわき市田人町旅人字下坪		いわき市田人町南大平字辺栗	2	土砂崩落	あり	
⑩ 国道289号	南会津郡只見町大字黒谷		南会津郡只見町大字福井	2	土砂崩落	-	11/8 15:00
⑪ 国道113号	相馬郡新地町大字駒ヶ嶺字大沢北		相馬郡新地町大字駒ヶ嶺字大沢北	2.1	土砂崩落	-	10/15 14:59
⑫ 国道294号	白河市西小丸山		白河市西小丸山	1.5	法面崩落	-	10/16 0:30
⑬ 国道349号	伊達市梁川町五十沢		伊達市梁川町五十沢	0.7	路肩崩壊	あり	



—	凡例
—	基幹道路
X	通行止め
△	着手
○	通行可

■破堤が確認された河川一覧（県管理河川）

別紙2-2

11/13 14:30まとめ

No.	河川名	市町村	地区名 (ルビ)	左右岸	延長(m)	応急対応状況		
						県対応状況		国の権限代行状況
						応急対応状況	完了日	
※ 1	濁川	福島市	郷野目 (ゴウノメ)	左岸	15	応急対応（大型土のう）済	10月13日	応急復旧完了（11月7日）
※ 2	広瀬川	伊達市	月鏡町下手渡 (ツキカミゲノシモワタ)	左岸	80	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 3	滝川		梁川町二野塚 (ノベ川町ニノノヅカ)	右岸	62	応急対応（大型土のう）済	10月18日	応急復旧完了（11月7日）
※ 4	佐久間川	桑折町	伊達崎 (イダサキ)	右岸	35	応急対応（大型土のう）済	10月18日	応急復旧完了（11月7日）
※ 5			伊達崎 (イダサキ)	左岸	10	応急対応（大型土のう）済	10月18日	応急復旧完了（11月6日）
※ 6	安達太良川	本宮市	本宮 (ホンミヤ)	左岸	15	応急対応（大型土のう）済	10月16日	ブロック張施工中（11月13日完了予定）
※ 7	谷田川	郡山市	下行合 (ノボリガヒ)	右岸	40	応急対応（大型土のう、盛土）済	10月24日	応急復旧完了（11月8日）
※ 8			上行合 (ノボリガヒ)	左岸	30	応急対応（大型土のう、盛土）済	10月24日	応急復旧完了（11月8日）
※ 9	藤田川		日和田 (ヒヨウダ)	左岸	50	応急対応（大型土のう、盛土）済	10月24日	ブロック張施工中（11月15日完了予定）
※ 10	鈴川	鏡石町	河原 (カワラ)	右岸	34	応急対応（大型土のう、盛土）済	10月24日	法面整形完了
※ 11			河原 (カワラ)	右岸	69	応急対応中に国の権限代行に移行	—	法面整形完了
※ 12	阿武隈川		河原 (カワラ)	左岸	97	応急対応中に国の権限代行に移行	—	盛土完了、法面整形中
※ 13			藤助町 (フヂノチ)	左岸	100	応急対応中に国の権限代行に移行	—	盛土施工中
※ 14		玉川村	小高 (コタカ)	右岸	50	応急対応（大型土のう）済	10月21日	法面整形完了
※ 15		矢吹町	陣ヶ岡 (イナガノ)	左岸	150	応急対応中に国の権限代行に移行	—	盛土施工中
※ 16			中沖 (ナカノキ)	左岸	100	応急対応中に国の権限代行に移行	—	盛土概成、法面整形中
※ 17			明新薬 (アカノイ)	左岸	200	応急対応（大型土のう）済	10月24日	盛土完了、法面整形中
※ 18	藤野川	白河市	関立 (セキタ)	左岸	45	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 19	社川		表郷堀之内 (ウラキョウノチノウチ)	左岸	65	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 20			表郷中等 (ウラキョウノチノウチ)	左岸	10	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 21			表郷高木 (ウラキョウノチノウチ)	右岸	90	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 22			表郷内松 (ウラキョウノチノウチ)	左岸	120	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 23			表郷内松 (ウラキョウノチノウチ)	左岸	260	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 24		棚倉町	一色 (イツキ)	左岸	125	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 25			一色 (イツキ)	右岸	150	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 26			堤 (ツツミ)	左岸	35	応急対応（大型土のう）済	10月17日	
※ 27		石川町	沢井 (サカイ)	左岸	150	応急対応（大型土のう）済	10月29日	
※ 28		浅川町	福貴作 (フキサク)	右岸	50	応急対応（大型土のう）済	10月26日	
※ 29			福貴作 (フキサク)	右岸	170	応急対応（大型土のう）済	10月29日	
※ 30			福貴作 (フキサク)	左岸	330	応急対応（大型土のう）済	10月27日	
※ 31	藤川	会津美里町	榎丸 (エノマル)	右岸	100	応急対応（大型土のう）済	10月19日	
※ 32	三滝川	新地町	福田 (フクダ)	左岸	50	応急対応（大型土のう）済	11月7日	
※ 33	宇多川	相馬市	西山 (ニシヤマ)	左岸	200	応急対応（大型土のう）済	10月31日	
※ 34			南郷田 (ミナトノエ)	右岸	100	応急対応（大型土のう）済	10月30日	
※ 35			北郷田 (キタノエ)	左岸	78	応急対応（大型土のう、盛土）済	10月18日	
※ 36	小泉川		和田 (ワタ)	左岸	20	応急対応（大型土のう）済	11月2日	
※ 37	太田川	南相馬市	森田 (モリタ)	左岸	160	応急対応（大型土のう）済	10月18日	
※ 38	川房川		川房 (カワフ)	左岸	50	応急対応（大型土のう）済	10月30日	
※ 39	小高川		小高木 (コタカ)	左岸	150	応急対応（大型土のう）済	11月1日	
※ 40			金谷 (カナヤ)	右岸	30	応急対応（大型土のう）済	11月1日	
※ 41	水無川		高倉 (タカクラ)	右岸	70	応急対応（大型土のう）済	10月31日	
※ 42	上真野川		横濱 (ヨコハマ)	左岸	40	応急対応（大型土のう）済	10月30日	
※ 43	夏井川	いわき市	平鏡岡 (ヘイカミノ)	左岸	25	応急対応（大型土のう）済	10月17日	
※ 44			平下平塚四ノ門内 (ヘイゲノシラカネノカドノウチ)	左岸	25	応急対応（大型土のう）済	10月15日	
※ 45			小川町 (コガワ)	左岸	70	応急対応（大型土のう）済	10月28日	
※ 46			平下平塚中島町 (ヘイゲノシラカネノナカシマ)	左岸	30	応急対応（大型土のう）済	10月21日	
※ 47			平下平塚大志保 (ヘイゲノシラカネノオホシホ)	左岸	30	応急対応（大型土のう）済	10月21日	
※ 48	好間川		好間町今新田 (ヨシマツノチノイマニシタ)	左岸	25	応急対応（大型土のう）済	10月22日	
※ 49	鮫川		遠野町滝 (トノノボリ)	右岸	300	応急対応（大型土のう）済	10月28日	

23河川 17市町村 49箇所

○今後の進め方：次期降雨予測等を注視し、応急対策を進める。
※国土交通省による権限代行工事箇所計16箇所

土砂崩れ等発生箇所一覧

R1.11.13/11:00現在

NO.	郡市	町村	大字	発生形態	土砂法指定	被害		保全家 2戸以上	対策検討	備考
						人的	建物			
1	福島市		佐原字松大坂	がけ崩れ	—	○	○	○	がけ 1	
2	福島市	飯坂町	湯野字東愛宕	がけ崩れ	H21.1.30			○	がけ 2	
3	福島市		大森字椿館	がけ崩れ	H24.12.28					
4	福島市		渡利字山ノ下前	がけ崩れ	H21.1.30					
5	福島市		渡利字八寺沢	がけ崩れ	H30.9.28					
6	福島市	土湯温泉町	字油畑	がけ崩れ	指定準備中					
7	福島市		渡利字松保	がけ崩れ	H21.1.30					
8	伊達市	梁川町	山舟生字屏風作	がけ崩れ	—		○			
9	伊達市	梁川町	山舟生字勝木	がけ崩れ	—		○			
10	伊達市	梁川町	山舟生字蜂沢	土石流等	指定準備中					
11	伊達市	梁川町	舟生字栗生山	土石流等	指定準備中					
12	伊達市	梁川町	舟生字粟生山	土石流等	指定準備中					
13	伊達市	梁川町	山舟生字下板木	がけ崩れ	指定準備中					
14	伊達市	梁川町	舟生大越	がけ崩れ	R1.8.30					
15	伊達市	霊山町	山戸田薄木	がけ崩れ	R1.6.28					
16	伊達市	梁川町	白根字大久保	土石流等	R1.8.30			○		道路法面
17	伊達市	梁川町	白根字荒田	土石流等	H28.7.1		○			
18	伊達市	月館町	御代田字境ノ目	土石流等	指定準備中					
19	伊達市	梁川町	白根字小野作	がけ崩れ	R1.8.30					
20	伊達市	梁川町	白根字中ノ作	がけ崩れ	R1.8.30					
21	伊達市	梁川町	白根字飯出	がけ崩れ	R1.8.30					
22	伊達市	梁川町	山舟生字浜井塚	がけ崩れ	R1.8.30		○			
23	伊達市	梁川町	山舟生字浜井塚	がけ崩れ	R1.8.30					
24	伊達郡	川俣町	東大清水	がけ崩れ	—		○			
25	伊達郡	川俣町	飯坂字山林	土石流等	指定準備中					
26	二本松市		百目木字下名目津	がけ崩れ	H18.11.10	○	○	○	がけ 3	
27	二本松市		木幡字下境	がけ崩れ	—		○	○	がけ 4	
28	二本松市		若宮一丁目	がけ崩れ	H26.9.30					
29	二本松市		郭内三丁目	がけ崩れ	H26.12.26					
30	二本松市		木幡字田中	がけ崩れ	—		○			
31	郡山市	田村町	細田字宿	がけ崩れ	H30.8.31			○	がけ 5	
32	田村市	常葉町	久保字堂城前	がけ崩れ	H31.3.5					
33	田村市	常葉町	関本字上野	がけ崩れ	—		○			
34	田村市	常葉町	早稲川字一本松	がけ崩れ	指定準備中		○			
35	田村市	常葉町	久保字音沢	がけ崩れ	—		○	○	がけ 6	
36	田村市	船引町	北移字東島堂	がけ崩れ	—			○	がけ 7	
37	田村市	都路町	古道字柳沢	がけ崩れ	—		○			
38	田村市	堂葉町	新田作字遠東	がけ崩れ	H31.2.19		○			
39	田村郡	三春町	遇足字岩ノ入	がけ崩れ	—		○	○	がけ 8	
40	田村郡	三春町	日向町	がけ崩れ	指定準備中					
41	田村郡	三春町	字洪池	がけ崩れ	H20.8.29			○		道路法面
42	田村郡	三春町	字新町	がけ崩れ	H20.8.29			○	がけ 9	
43	田村郡	三春町	字新町	がけ崩れ	H20.8.29					
44	田村郡	小野町	上出羽庭字赤木	がけ崩れ	—		○	○		保安林
45	田村郡	小野町	上出羽庭字辻ノ内	がけ崩れ	—			○	がけ 10	
46	岩瀬郡	天栄村	湯本字下二俣	がけ崩れ	H21.5.1					
47	岩瀬郡	天栄村	牧之内字膳棚山	土石流等	H17.12.27					
48	石川郡	石川町	双里字桜町	がけ崩れ	H24.12.28					
49	石川郡	平田村	上蓬田字下宿	がけ崩れ	H26.3.28					
50	白河市		八竜神	がけ崩れ	—	○	○	○		道路法面
51	白河市		葛蒲沢	がけ崩れ	H20.3.28		○	○	がけ 11	
52	白河市		白坂	がけ崩れ	—		○			
53	白河市		土武塚	がけ崩れ	—		○	○	がけ 12	
54	白河市		合戦坂	がけ崩れ	H29.7.28		○	○	がけ 13	
55	白河市		大和田畑田	がけ崩れ	—		○	○	がけ 14	
56	白河市		小田川仲丸	がけ崩れ	—		○	○	がけ 15	
57	白河市		管生館	がけ崩れ	H20.3.28		○	○		人工斜面
58	白河市		影鬼越	がけ崩れ	—		○			
59	東白川郡	棚倉町	山際字屋敷前	がけ崩れ	H31.3.5					
60	東白川郡	棚倉町	大梅字大岩平	土石流等	H21.1.30		○			
61	東白川郡	鮫川村	赤坂東野字伊柳沢	がけ崩れ	—		○			
62	相馬市		山上字落合	がけ崩れ	—		○	○	がけ 16	
63	相馬市		山上字中井塚	がけ崩れ	指定準備中					
64	相馬市		山上字中井塚	がけ崩れ	指定準備中		○	○		保安林
65	相馬市		小野山ヶ平	がけ崩れ	指定準備中					
66	相馬市		山上横山	がけ崩れ	指定準備中					
67	相馬市		玉野副霊山	がけ崩れ	指定準備中					
68	相馬市		初野字弘川	土石流等	指定準備中					
69	相馬市		大野台2丁目	土石流等	指定準備中					
70	南相馬市	原町区	大原字川子迫	土石流等	—	○	○			
71	南相馬市	小高区	上浦字中村迫	がけ崩れ	—			○		
72	南相馬市	小高区	浦尻字長神前	がけ崩れ	H22.1.26					
73	南相馬市	小高区	大井字久能平	がけ崩れ	R1.8.2					
74	南相馬市	小高区	耳谷字根本	がけ崩れ	R1.9.27					

土砂崩れ等発生箇所一覧

R1.11.13/11:00現在

NO.	郡市	町村	大字	発生形態	土砂法指定	被害		保全家 2戸以上	対策検討	備考
						人的	建物			
75	南相馬市	小高区	岡田字万ヶ迫	がけ崩れ	R1.9.27					
76	南相馬市	鹿島区	横原字上萱	土石流等	指定準備中		○	○	土石流 1	
77	双葉郡	広野町	折木字東下	がけ崩れ	指定準備中			○	がけ 17	
78	双葉郡	広野町	折木字亀ヶ崎	がけ崩れ	-		○			
79	双葉郡	葛尾村	葛尾字関場	がけ崩れ	指定準備中					
80	双葉郡	葛尾村	葛尾字北平	がけ崩れ	指定準備中					
81	双葉郡	川内村	下川内字宮ノ下	がけ崩れ	指定準備中					
82	双葉郡	川内村	下川内字宮坂	土石流等	指定準備中		○	○		
83	双葉郡	川内村	下川内字萩	がけ崩れ	指定準備中					
84	双葉郡	川内村	上川内字持留	土石流等	H22.1.26					
85	相馬郡	飯館村	飯館字八幡坂	がけ崩れ	調査中					
86	相馬郡	飯館村	飯館字割木	がけ崩れ	調査中					
87	相馬郡	飯館村	飯館字割木	がけ崩れ	調査中					
88	相馬郡	飯館村	比曾字上比曾	がけ崩れ	調査中					
89	相馬郡	飯館村	須賀字水上	がけ崩れ	調査中					
90	相馬郡	飯館村	飯館字割木	がけ崩れ	調査中					
91	相馬郡	飯館村	小宮字山辺沢	がけ崩れ	調査中					
92	相馬郡	飯館村	藤平字木戸	がけ崩れ	調査中					
93	相馬郡	飯館村	伊丹沢字笹ノ沢	がけ崩れ	調査中					
94	相馬郡	飯館村	草野字大北	がけ崩れ	調査中					
95	相馬郡	飯館村	草野字マタノ川	がけ崩れ	調査中					
96	相馬郡	飯館村	草野字宮内	がけ崩れ	調査中					
97	相馬郡	飯館村	草野字立堀	がけ崩れ	調査中					
98	相馬郡	飯館村	太倉字木戸木	がけ崩れ	調査中					
99	相馬郡	飯館村	前田字福田	がけ崩れ	調査中					
100	相馬郡	飯館村	小宮字反田	がけ崩れ	調査中					
101	相馬郡	飯館村	小宮字野手袖	がけ崩れ	調査中					
102	相馬郡	飯館村	草野字トゲノ先	がけ崩れ	調査中					
103	いわき市	内郷内町	金坂	がけ崩れ	H28.12.26					
104	いわき市	小川町	高萩字鹿野	がけ崩れ	H23.12.16			○	がけ 18	
105	いわき市	平	谷川瀬字田中内	がけ崩れ	指定準備中			○	がけ 19	
106	いわき市	三和町	差塩字東作	がけ崩れ	指定準備中			○	がけ 20	
107	いわき市	好間町	榑小屋字生木葉	がけ崩れ	-			○	がけ 21	
108	いわき市	平	研町裏	がけ崩れ	H25.5.28					
109	いわき市	渡辺町	洞字岸	がけ崩れ	R1.6.28					
110	いわき市	小川町	西小川字上ノ平	がけ崩れ	H23.12.16					
111	いわき市	常磐下船尾町	中畑	がけ崩れ	H20.2.26					
112	いわき市	常磐藤原町	田場坂	がけ崩れ	-		○			
113	いわき市	内郷宮町	平太郎	がけ崩れ	H26.3.28			○		人工斜面
114	いわき市	川前町	上桶売字上沢尻	がけ崩れ	指定準備中					
115	いわき市	川前町	下桶売字矢田谷地	がけ崩れ	H23.11.18					
116	いわき市	三和町	上三坂字古事又	がけ崩れ	指定準備中					
117	いわき市	三和町	中三坂字腰巻	がけ崩れ	R1.6.28					
118	いわき市	三和町	中三坂字戸沢	がけ崩れ	H20.1.11					
119	いわき市	三和町	下三坂字川田	がけ崩れ	R1.6.28			○	がけ 22	
120	いわき市	三和町	下三坂字原	がけ崩れ	R1.6.28					
121	いわき市	常磐岩ヶ岡町	山ノ根	がけ崩れ	H24.3.30					
122	いわき市	平	旧城跡	がけ崩れ	H27.3.27			○	がけ 23	
123	いわき市	内郷宮町	滝	がけ崩れ	H27.3.27		○	○	がけ 24	
124	いわき市	常磐湯本町	傾城	がけ崩れ	H24.3.30		○	○	がけ 25	
125	いわき市	好間町	北好間字籬	がけ崩れ	H23.11.18		○	○	がけ 26	
126	いわき市	常磐湯本町	天王崎	がけ崩れ	H23.6.28					
127	いわき市	内郷小島町	竹之内	がけ崩れ	H24.12.28					
128	いわき市	内郷小島町	作田	がけ崩れ	H24.12.28					
129	いわき市	川前町	川前字捫立	土石流等	H23.1.25			○	土石流 2	
130	いわき市	内郷綴町	高野作	土石流等	H24.7.31					
131	いわき市	好間町	下好間字大館	がけ崩れ	H26.3.28					
132	いわき市	泉町	瀧尻字砂井田	がけ崩れ	指定準備中					
133	いわき市	内郷宮町	平太郎	がけ崩れ	H26.3.28		○	○		人工斜面
134	いわき市	三和町	上市萱字諏訪	土石流等	H20.1.11		○	○	土石流 3	
135	いわき市	田人町	旅人字古田	がけ崩れ	H19.12.11					
136	いわき市	常磐藤原町	志座	がけ崩れ	-					
137	いわき市	平	中神谷字石脇	がけ崩れ	H29.3.28					
138	いわき市	平	下高久字若宮	がけ崩れ	H28.3.29					
139	いわき市	三和町	上三坂字山神前	がけ崩れ	指定準備中					
140	いわき市	三和町	上三坂字網木	がけ崩れ	指定準備中					
141	いわき市	仁井田町	寺前	がけ崩れ	H19.12.11					
142	いわき市	常磐三沢町	日吉下	がけ崩れ	R1.8.30					
143	いわき市	川前町	下桶売字西向	がけ崩れ	指定準備中					
144	いわき市	平	縄谷字南作	がけ崩れ	指定準備中					
145	いわき市	三和町	下市萱字竹ノ下	土石流等	R1.6.28		○	○	土石流 4	
計						5	41	39	30	



令和元年11月13日

農 林 水 産 部

台風19号等による農林水産業被害

(令和元年11月13日 13:30現在)

I 被害の状況 農林水産被害額計 63,311,584千円 (内訳は以下のとおり)

1 農業等災害 (別紙1)

計 51市町村 2,334,836千円

(内訳)

農作物 2,016ha 1,914,155千円

樹木 240ha 288,764千円

農業等施設 277件 117,360千円

家畜等 862頭・羽 14,557千円

2 水産災害 (別紙2)

・ 8市町 17カ所 85,452千円

3 農地等災害 (別紙3) 【確定】

・ 55市町村 19,067カ所 52,533,000千円

4 林業等災害、治山災害

計 8,358,296千円

(1) 林地被害 (別紙4)

・ 21市町村 52カ所 1,630,770千円

(2) 林道施設 (別紙5)

・ 41市町村 61.4路線 4,544,382千円

(3) 林産施設等 (別紙6)

・ 14市町村 24カ所 2,180,448千円

(4) 森林被害 (別紙7)

・ 6市町 14カ所 2,696千円

II 現在の取組状況

(1) 技術情報の発行

○ 令和元年10月9日 「台風19号に対する農作物等の技術対策」

○ 令和元年10月16日 「台風19号による水害に関する農作物等の技術対策」

○ 令和元年10月25日 「台風19号の水害に関する農作物等の技術対策(第2報)」

(2) 相談窓口の設置

各農林事務所、水産事務所に農林水産物の技術対策、資金、各種支援制度等の生産者等からの相談に対応

- (3) 農地等災害への応急対応 (別紙8)
- ・ 査定前着工制度の活用状況
 - 10市町村 14地区 (うち1地区県営) 実施額541,600千円
- (4) 防災重点ため池の緊急点検
 防災重点ため池 (点検対象1,340カ所) の緊急点検について市町村の支援を行い、点検を終了。
- (5) 林道施設及び治山災害等の応急対応
 生活道として活用されている林道「坂下新宿線 (相馬市)」については相馬市において10月29日に応急工事完了。「柳沢線 (伊達市)」は応急工事を完了。
- (6) 農村生活環境施設の応急対応
 営農飲雑用水施設<農村上水道>「坂下地区 (相馬市)」及び「大倉地区 (飯舘村)」の応急工事が完了し、配水開始 (11/3)。
 農業集落排水施設<農村下水道>「竜崎地区 (玉川村)」の応急工事が完了し、汚水処理再開 (10/31)。
- (7) 被災市町村への技術支援
 県からの要請に基づき、東北農政局から国農業土木職員が農林事務所に派遣され、国と県で協力して被災市町村を技術支援 (10/23~)
 伊達市・国見町で土砂堆積等の被害を受けた果樹園 (モモ、柿) において、農林水産省・県・市町・JAで現地調査の上、早期復旧に向けた実務者協議を実施 (10/29)。
- (8) 災害査定官による現地調査
 農林水産省農村振興局防災課及び東北農政局防災課災害査定官による現地調査 (5カ所) を行い、復旧方針や復旧工法等について打合せを実施 (10/23)。
- (9) 被災農業者等への金融支援
 農家経営安定資金に「令和元年台風19号災害資金」を創設し、10月28日から取扱を開始 (貸付金利0.06%以内。農協取扱に当たっては実質無金利)。
- (10) 「台風第19号等の暴風雨による災害からの農林水産業復旧の手引き」について、国の追加支援対策等を反映させた改訂版を策定し、11月13日に更新。

III 県有施設の被害等

- ・ 調査船「拓水」 冷却水取水管の目詰まり
小名浜に回航 (11/10)。造船所に上架し修繕 (11/18~)。
- ・ 県取締船「あづま」の浮棧橋 チェーン1本破損 (ワイヤーで対応)
- ・ 林業研究センター (郡山市) 場内道路の1箇所で路体流出 (復旧方法を調整中・応急処理済)。また、敷地内スギ立木1本が倒伏 (直営で処理完了)。

IV その他

- ・ 「フォレストパークあだたら」で被災者等を対象に、温泉の無料提供を実施。
 (10/17~)

台風19号による農業等被害状況とりまとめ

令和元年11月13日12:00時点
農業支援総室農業振興課

	市町村数	被害面積・件数	被害額(千円)
①農作物	49	2016 ha	1,914,155
②樹体	14	240 ha	288,764
③農業等施設	30	277 件	117,360
④家畜等	6	862 頭・羽	14,557
合計	51		2,334,836

【内訳】

① 農作物

地域	市町村名	作物名	冠水等面積 (ha)	被害額 (千円)	備考 (被害等の状況)
県北	福島市	きゅうり、りんご、水稻等	54.28	177,502	冠水、土砂流入
	川俣町	水稻、ストック	4.79	4,256	冠水
	伊達市	かき、水稻、きゅうり等	130.31	178,874	冠水、風害
	桑折町	水稻	19.00	2,921	冠水
	国見町	水稻、りんご、ねぎ等	39.90	49,157	冠水、風害
	二本松市	水稻、ミニトマト等	52.45	26,497	土砂流入
	本宮市	ねぎ、水稻等	3.11	2,798	冠水、土砂流入
	大玉村	りんご、水稻等	2.91	2,236	土砂流入、風害
	小計		306.75	444,241	
県中	郡山市	ねぎ、水稻、ブロッコリー等	90.57	99,401	冠水、土砂流入
	田村市	水稻、ねぎ、ミニトマト等	28.78	14,170	冠水、土砂流入
	三春町	水稻、きゅうり	0.83	989	冠水、土砂流入
	小野町	水稻	8.59	5,392	冠水、土砂流入
	須賀川市	水稻、りんご、きゅうり等	175.77	225,221	冠水、土砂流入
	鏡石町	水稻、いちご、きゅうり等	104.90	147,228	冠水、土砂流入
	天栄村	水稻、はくさい、宿根かすみそう等	5.19	4,869	冠水、土砂流入
	石川町	水稻、にら、トマト等	5.31	11,094	冠水、土砂流入
	玉川村	水稻、トマト、いちご等	72.58	88,629	冠水、土砂流入
	古殿町	水稻、ミニトマト	1.00	2,033	冠水、土砂流入
	浅川町	水稻、ブロッコリー、きゅうり等	31.38	20,178	冠水、土砂流入
	平田村	水稻等	24.00	15,772	冠水、土砂流入
	小計		548.90	634,976	
県南	白河市	水稻、トマト、レタス等	67.86	40,528	
	泉崎村	水稻、ブロッコリー、トマト等	17.83	20,391	
	中島村	シクラメン、水稻、サンチュ等	5.61	22,578	浸水
	矢吹町	水稻、きゅうり、トマト等	75.61	89,712	
	棚倉町	水稻、いちご、大豆	37.77	24,523	
	矢祭町	いちご、水稻	9.99	12,285	
	塙町	水稻、きゅうり、いちご	34.22	31,839	
	鮫川村	水稻、大豆	1.01	596	
	小計		249.90	242,452	
会津	会津若松市	りんご、ユウカリ等	13.21	9,930	
	磐梯町	そば	15.93	1,144	
	猪苗代町	そば、トルコギキョウ等	109.21	12,300	
	喜多方市	水稻、はくさい、りんご等	3.35	1,660	
	西会津町	水稻、そば	1.00	875	
	金山町	水稻	0.31	357	
	昭和村	宿根かすみそう	0.04	135	
	会津坂下町	水稻(飼料用)、りんご等	16.97	2,342	
	会津美里町	りんご	78.30	3,139	
	小計		238.32	31,882	
南会津	南会津町	水稻、トマト	0.28	555	
	只見町	水稻、野菜類	3.25	2,020	
	下郷町	そば	0.05	6	土砂流入
	小計		3.58	2,581	

相双	相馬市	水稻、大豆、たかな	224.53	121,499
	南相馬市	水稻、大豆、きゅうり	51.21	10,197
	新地町	水稻	12.20	12,337
	飯館村	そば、にんにく、かすみそう等	5.30	3,168
	広野町	水稻	1.34	648
	川内村	水稻、そば、りんどう等	63.00	17,692
	浪江町	花き、野菜類、ぶどう	1.62	15,255
	葛尾村	水稻	0.46	32
	小計		359.66	180,828
いわき	いわき市	水稻、トマト、シクラメン等	308.68	377,195
	小計		308.68	377,195
農作物被害合計			2015.79	1,914,155

② 樹体

地域	市町村	被害面積	被害額	主な品目
県北	福島市	20.00	9,572	りんご、もも
	伊達市	81.89	104,293	もも、かき
	桑折町	52.00	37,936	もも
	国見町	49.30	103,192	もも、かき
	二本松市	0.10	608	りんご
	小計	203.29	255,601	
県中	郡山市	0.01	5	りんご
	須賀川市	32.70	28,948	りんご、もも、日本なし等
	三春町	0.05	360	りんご
	田村市	0.01	3	やまぶどう
小計	32.77	29,316		
会津	喜多方市	0.02	4	りんご
	会津坂下町	0.10	905	りんご
	小計	0.12	909	
南会津	南会津町	0.86	233	りんご、りんどう
	下郷町	0.06	294	りんどう、アスパラガス
	小計	0.92	527	
いわき	いわき市	2.65	2,411	日本なし等
	小計	2.65	2,411	
樹体被害合計		239.75	288,764	

③ 農業等施設

地域	市町村名	件数	被害額	施設名
県北	伊達市	24	6,076	パイプハウス、共選場
	二本松市	2	691	パイプハウス
	福島市	1	300	鉄骨ハウス
	小計	27	7,067	
県中	郡山市	4	11,020	牛舎、乾燥調製施設
	田村市	3	6,180	パイプハウス等
	須賀川市	2	1,161	パイプハウス等
	鏡石町	1	1,200	パイプハウス、堆肥舎
	石川町	73	14,855	パイプハウス、作業場
	玉川村	10	16,963	ライスセンター、パイプハウス
	浅川町	1	1,600	パイプハウス
小計	94	52,979		
県南	白河市	9	876	パイプハウス
	泉崎村	2	344	パイプハウス等
	矢吹町	5	516	パイプハウス
	棚倉町	4	1,275	パイプハウス、農業用倉庫
	鮫川村	1	496	倉庫
	小計	21	3,507	
会津	会津若松市	1	55	パイプハウス
	磐梯町	35	2,326	パイプハウス、牛舎
	猪苗代町	24	3,953	パイプハウス・畜舎
	喜多方市	10	962	パイプハウス
	北塩原村	1	11	パイプハウス
	会津美里町	2	107	パイプハウス
	小計	73	7,414	
南会津	南会津町	5	155	パイプハウス
	小計	5	155	
相双	相馬市	6	1,464	パイプハウス
	南相馬市	6	832	パイプハウス
	飯館村	2	325	ハウス(鉄骨ハウス含む)
	檜葉町	1	1,500	パイプハウス
	川内村	14	12,000	ライスセンター、パイプハウス
	浪江町	13	26,000	パイプハウス
	葛尾村	1	2,088	農機具倉庫
小計	43	44,209		
いわき	いわき市	14	2,029	ハウス(鉄骨ハウス含む)等
	小計	14	2,029	
施設被害合計		277	117,360	

※農業等施設の被害額は資産価値を減価償却した金額を基に算定しており、耐用年数が経過した農業等施設については、件数及び被害額に計上しない。

④ 家畜等

地域	市町村名	頭羽数	被害額	畜種名
県北	川俣町	816	64	ブロイラー
	二本松市	6	1,140	肉用牛
	小計	822	1,204	
県中	郡山市	19	6,878	乳用牛
	須賀川市	2	878	肉用牛
	石川町	8	2,338	肉用牛
	小計	29	10,094	
県南	矢吹町	11	3,259	肉用牛
	小計	11	3,259	
家畜等被害合計		862	14,557	

台風19号による水産関係被害状況

令和元年11月13日11:00現在

生産流通総室 水産課

分類	漁協名等	地区	被害額(千円)	被害状況
海面 漁協	相馬双葉漁協	相馬市原釜	285	漁船一隻船体に損傷
		相馬市松川浦	1,000	松川浦のノリ養殖漁場に流木等が流入
		南相馬市鹿島	100	漁具倉庫の窓ガラス破損(真野川漁港)
	いわき市漁協	いわき市小浜	1,752	船外機船(小型船)一隻転覆
水産 加工	小名浜水産加工業 協同組合	いわき市	7,360	保冷トラック1台水没
さけ 増殖	うだがわ 宇多川鮭増殖組合	相馬市	—	ふ化場の水路が一部土砂で埋まる。除去済 10/25の大雨で鮭やな資材流失 10/25の大雨でふ化場の水路が再び土砂で埋まる
	真野川鮭増殖組合	南相馬市	16,397	河川敷の鮭やな資材流失,作業小屋2棟損傷 ふ化場発電機、変圧器、井戸ポンプが被災 10/25の大雨で鮭やな資材流失
	新田川鮭繁殖漁協	南相馬市	22,310	鮭やなは被害なし。ふ化場の水槽、配管が被災 地形、流れが変わり、やな場まで進入できず
	小高川鮭増殖組合	南相馬市	540	鮭やな資材流失 10/25の大雨で網の一部流失
	富岡川漁協	富岡町	500	鮭やな資材流失
	木戸川漁協	楢葉町	23,544	鮭やな湾曲、網流失、魚取り部分ふた流失
内水面 漁協	室原川高瀬川漁協 泉田川漁協	浪江町	8,000	同居する事務所が床上浸水 床、壁、エアコン、電気配線、家具が被災
	夏井川	いわき市	—	事務所建物床上浸水(事務室は2階で無事)
内水面 養殖	おだ 酒蓋池	郡山市	814	アユ約300kg、ウグイ約130kg流失
	三本木池	郡山市	300	自動給餌器1個水没
	錦鯉養殖業者	相馬市	2,000	錦鯉約140尾流失
	マス類養殖業者	猪苗代町	550	泥で徐々に衰弱し、ヤマメ親魚約400尾へい死 ヤマメ受精卵約13万粒死卵

被害額合計 85,452 千円

農地等災害被害状況取りまとめ

台風19号災害

(令和元年10月11～13日発生)

【確定報】

令和01年11月13日(水) 12:30 現在

農村整備総室 農村基盤整備課

管内名	被害状況		
県北	福島市	664 力所	467,000 千円 (田310力所155,000千円、畑190力所95,000千円、 ため池1力所1,000千円、水路145力所103,000千円、 道路14力所22,000千円、橋梁1力所70,000千円、 揚水機2力所16,000千円、農業集落排水施設1力所5,000千円)
	二本松市	697 力所	781,000 千円 (田179力所132,000千円、畑26力所19,000千円、 ため池1力所1,000千円、頭首工15力所94,000千円、 水路472力所298,000千円、揚水機4力所237,000千円)
	伊達市	975 力所	1,842,000 千円 (田194力所791,000千円、畑240力所617,000千円、 ため池19力所28,000千円、頭首工91力所95,000千円、 水路243力所208,000千円、道路182力所91,000千円、 揚水機5力所10,000千円、農業集落排水施設1力所2,000千円)
	川俣町	268 力所	880,000 千円 (田70力所80,000千円、畑40力所70,000千円、 ため池3力所80,000千円、頭首工5力所60,000千円、 水路100力所550,000千円、道路50力所40,000千円)
	桑折町	7 力所	69,000 千円 (田2力所33,000千円、畑1力所10,000千円、 水路4力所26,000千円)
	国見町	129 力所	847,000 千円 (田18力所171,000千円、畑70力所613,000千円、 水路40力所58,000千円、揚水機1力所5,000千円)
	大玉村	10 力所	16,000 千円 (田4力所2,000千円、頭首工2力所3,000千円、 水路4力所11,000千円)
	本宮市	57 力所	776,000 千円 (田24力所18,000千円、畑3力所6,000千円、 水路26力所30,000千円、道路2力所1,000千円、 揚水機2力所721,000千円)
	管内計	2,807 力所	5,678,000 千円

管内名	被害状況		
県中	郡山市	1,075 力所	3,493,000 千円 (田637力所770,000千円、畑69力所129,000千円、 ため池25力所151,000千円、頭首工25力所340,000千円、 水路138力所322,000千円、道路162力所539,000千円、 橋梁5力所100,000千円、揚水機8力所142,000千円、 農業集落排水施設6力所1,000,000千円)
	須賀川市	608 力所	1,806,000 千円 (田204力所383,000千円、畑3力所1,000千円、 ため池18力所130,000千円、頭首工8力所500,000千円、 水路267力所375,000千円、道路101力所209,000千円、 橋梁1力所3,000千円、揚水機6力所205,000千円)
	田村市	1,946 力所	2,561,000 千円 (田230力所230,000千円、畑115力所115,000千円、 ため池10力所140,000千円、頭首工12力所150,000千円、 水路908力所1,469,000千円、道路671力所457,000千円)
	鏡石町	130 力所	988,000 千円 (田42力所277,000千円、畑11力所78,000千円、 ため池2力所5,000千円、頭首工1力所73,000千円、 水路51力所57,000千円、道路17力所107,000千円、 揚水機5力所191,000千円、農業集落排水施設1力所200,000千円)
	天栄村	177 力所	271,000 千円 (田80力所80,000千円、畑15力所10,000千円、 ため池8力所30,000千円、頭首工7力所50,000千円、 水路60力所30,000千円、道路5力所8,000千円、 揚水機1力所60,000千円、農業集落排水施設1力所3,000千円)
	石川町	612 力所	1,191,000 千円 (田387力所522,000千円、畑76力所149,000千円 頭首工4力所12,000千円、水路93力所411,000千円、 道路51力所96,000千円、揚水機1力所1,000千円)
	玉川村	116 力所	832,000 千円 (田55力所128,000千円、畑33力所114,000千円、 ため池1力所20,000千円、水路10力所40,000千円、 道路10力所30,000千円、排水機場4力所100,000千円、 農業集落排水施設3力所400,000千円)
	平田村	455 力所	451,000 千円 (田269力所178,000千円、畑71力所48,000千円、 水路57力所137,000千円、道路57力所85,000千円、 農地保全施設1力所3,000千円)
	浅川町	590 力所	619,000 千円 (田351力所191,000千円、畑47力所35,000千円、 ため池1力所5,000千円、頭首工3力所102,000千円、 水路113力所114,000千円、道路62力所107,000千円、 揚水機13力所65,000千円)
	古殿町	59 力所	153,000 千円 (田23力所11,000千円、畑12力所9,000千円、 ため池1力所50,000千円、頭首工1力所3,000千円、 水路5力所25,000千円、道路12力所30,000千円、 揚水機5力所25,000千円)
	三春町	361 力所	357,000 千円 (田41力所21,000千円、畑99力所42,000千円、 ため池4力所4,000千円、頭首工4力所125,000千円、 水路114力所66,000千円、道路98力所49,000千円、 農業集落排水施設1力所50,000千円)
	小野町	339 力所	118,000 千円 (田276力所73,000千円、畑27力所6,000千円、 水路18力所19,000千円、道路18力所20,000千円)
	管内計	6,468 力所	12,840,000 千円 <小計12市町村>

管内名	被害状況		
県南	白河市	2,499 力所	4,490,000 千円 (田1,398力所1,980,000千円、畑92力所120,000千円、 ため池30力所87,000千円、頭首工8力所94,000千円、 水路704力所1,083,000千円、道路264力所432,000千円、 橋梁2力所660,000千円、農業集落排水施設1力所34,000千円)
	西郷村	124 力所	321,000 千円 (田29力所14,000千円、畑4力所3,000千円、 ため池1力所2,000千円、頭首工2力所260,000千円、 水路88力所42,000千円)
	泉崎村	265 力所	251,000 千円 (田83力所50,000千円、畑11力所7,000千円、 ため池2力所40,000千円、頭首工1力所19,000千円、 水路122力所85,000千円、道路46力所50,000千円)
	中島村	79 力所	270,000 千円 (田8力所117,000千円、畑9力所4,000千円、 頭首工2力所67,000千円、水路36力所62,000千円、 道路22力所10,000千円、農業集落排水施設2力所10,000千円)
	矢吹町	810 力所	1,978,000 千円 (田354力所879,000千円、畑121力所369,000千円、 ため池4力所65,000千円、頭首工1力所88,000千円、 水路313力所527,000千円、道路13力所23,000千円、 揚水機3力所17,000千円、農業集落排水施設1力所10,000千円)
	棚倉町	558 力所	1,212,000 千円 (田220力所148,000千円、畑34力所42,000千円、 頭首工17力所812,000千円、水路201力所166,000千円、 道路86力所44,000千円)
	矢祭町	80 力所	106,000 千円 (田27力所27,000千円、畑11力所20,000千円、 水路31力所38,000千円、道路10力所18,000千円、 農業集落排水施設1力所3,000千円)
	埴町	249 力所	572,000 千円 (田153力所93,000千円、畑23力所68,000千円、 頭首工15力所341,000千円、水路26力所41,000千円、 道路31力所24,000千円、農業集落排水施設1力所5,000千円)
	鮫川村	102 力所	545,000 千円 (田55力所216,000千円、畑10力所182,000千円、 頭首工2力所20,000千円、水路25力所84,000千円、 道路10力所43,000千円)
	管内計	4,766 力所	9,745,000 千円
会津	会津若松市	13 力所	44,000 千円 (田4力所3,000千円、頭首工2力所10,000千円、 水路5力所30,000千円、道路2力所1,000千円)
	喜多方市	11 力所	124,000 千円 (田2力所1,000千円、水路2力所3,000千円、 道路1力所1,000千円、揚水機場5力所109,000千円、 農地保全施設1力所10,000千円)
	磐梯町	2 力所	21,000 千円 (田1力所1,000千円、水路1力所20,000千円)
	猪苗代町	12 力所	6,000 千円 (田10力所2,000千円、頭首工1力所2,000千円、 水路1力所2,000千円)
	西会津町	30 力所	190,000 千円 (田8力所60,000千円、ため池1力所30,000千円、 水路15力所68,000千円、道路5力所22,000千円、 揚水機場1力所10,000千円)
	会津坂下町	9 力所	40,000 千円 (田2力所5,000千円、水路1力所2,000千円、 道路2力所3,000千円、揚水機場3力所20,000千円、 農地保全施設1力所10,000千円)
	柳津町	11 力所	75,000 千円 (田8力所60,000千円、水路3力所15,000千円)
	会津美里町	18 力所	51,000 千円 (田6力所15,000千円、畑2力所3,000千円、 頭首工1力所10,000千円、水路5力所10,000千円、 道路4力所13,000千円)
	三島町	6 力所	3,000 千円 (田4力所2,000千円、道路2力所1,000千円)
	金山町	4 力所	7,000 千円 (田2力所3,000千円、道路2力所4,000千円)
管内計	116 力所	561,000 千円	<小計10市町>

管内名	被害状況		
南会津	南会津町	259 力所	594,000 千円 (田45力所21,000千円、畑16力所8,000千円、 頭首工18力所326,000千円、水路161力所231,000千円、 道路19力所8,000千円)
	下郷町	74 力所	438,000 千円 (田26力所129,000千円、ため池1力所2,000千円、 頭首工14力所52,000千円、水路22力所208,000千円、 道路11力所47,000千円)
	只見町	28 力所	18,000 千円 (田16力所7,000千円、畑10力所3,000千円、 水路1力所3,000千円、農業集落排水施設1力所5,000千円)
	管内計	361 力所	1,050,000 千円 <小計3町>
相双	南相馬市	492 力所	7,962,000 千円 (田121力所3,104,000千円、畑20力所157,000千円、 ため池28力所469,000千円、頭首工51力所2,369,000千円、 水路173力所956,000千円、道路81力所215,000千円、 橋梁1力所375,000千円、排水機場14力所310,000千円、 農業集落排水施設3力所7,000千円)
	相馬市	324 力所	5,604,000 千円 (田83力所1,461,000千円、畑24力所297,000千円、 ため池17力所1,519,000千円、頭首工2力所207,000千円、 水路133力所1,188,000千円、道路59力所335,000千円、 橋梁1力所10,000千円、排水機場4力所287,000千円、 営農飲雑用水施設1力所300,000千円)
	広野町	38 力所	50,000 千円 (田22力所13,000千円、畑2力所1,000千円、 頭首工6力所13,000千円、水路4力所1,000千円、 道路3力所2,000千円、橋梁1力所20,000千円)
	檜葉町	8 力所	75,000 千円 (田3力所26,000千円、水路5力所49,000千円)
	富岡町	43 力所	227,000 千円 (田8力所69,000千円、頭首工2力所14,000千円、 水路26力所114,000千円、道路7力所30,000千円)
	川内村	2,505 力所	3,023,000 千円 (田1,530力所840,000千円、畑378力所394,000千円、 ため池4力所5,000千円、頭首工28力所265,000千円、 水路324力所204,000千円、道路228力所572,000千円、 橋梁4力所600,000千円、揚水機8力所43,000千円、 農業集落排水施設1力所100,000千円)
	大熊町	1 力所	10,000 千円 (道路1力所10,000千円)
	双葉町	2 力所	20,000 千円 (頭首工1力所10,000千円、水路1力所10,000千円)
	浪江町	22 力所	231,000 千円 (田6力所7,000千円、畑1力所41,000千円、 水路8力所55,000千円、道路6力所28,000千円、 農業集落排水施設1力所100,000千円)
	葛尾村	88 力所	184,000 千円 (田32力所149,000千円、畑17力所11,000千円、 頭首工1力所1,000千円、水路19力所12,000千円、 道路19力所11,000千円)
	新地町	74 力所	167,000 千円 (田18力所35,000千円、畑1力所1,000千円、 ため池1力所1,000千円、頭首工1力所30,000千円、 水路20力所89,000千円、道路32力所9,000千円、 揚水機場1力所2,000千円)
	飯館村	259 力所	345,000 千円 (田123力所68,000千円、畑36力所24,000千円、 ため池1力所1,000千円、水路68力所160,000千円、 道路29力所7,000千円、揚水機1力所5,000千円、 営農飲雑用水施設1力所80,000千円)
	管内計	3,856 力所	17,898,000 千円 <小計12市町村>

管内名	被害状況		
いわき	いわき市	693 カ所	4,761,000 千円 (田200カ所1,009,000千円、畑29カ所15,000千円、 ため池20カ所100,000千円、頭首工49カ所1,571,000千円、 水路220カ所398,000千円、道路162カ所324,000千円、 橋梁4カ所100,000千円、揚水機5カ所924,000千円、 農業集落排水施設4カ所320,000千円)
	管内計	693 カ所	4,761,000 千円 <小計1市>

<※全てのため池被災において、人的・家屋被害なし>

<計55市町村>	被害合計	(箇所数)	(被害額)
		19,067 カ所	52,533,000 千円
※農地：田・畑など	(うち農地	10,002 カ所	18,796,000 千円)
※農業用施設：ため池・道水路など	(うち農業用施設	9,033 カ所	31,103,000 千円)
※農業集落排水施設：農村下水道	(うち農業集落排水施設	30 カ所	2,254,000 千円)
※営農飲雑用水施設：農村上水道	(うち営農飲雑用水施設	2 カ所	380,000 千円)

林地被害発生状況【確定報】

別紙 4

令和01年11月13日(水)11:00現在

(※下線部は前回報告からの変更箇所)

農林水産部 森林林業総室 森林保全課

管内	市町村名	箇所数	金額	被災状況等
県北	福島市	5ヶ所	147,500 千円	山腹崩壊、人家敷地、市道・河川に土砂流出
	二本松市	3ヶ所	72,000 千円	山腹崩壊、仏閣・市道・水路へ土砂流出
	伊達市	3ヶ所	277,000 千円	山腹崩壊、人家敷地、市道等に土砂流出
	川俣町	1ヶ所	5,000 千円	山腹崩壊、畑へ土砂流出
	管内計	12ヶ所	501,500 千円	
県中	小野町	7ヶ所	230,000 千円	人家裏の山腹崩壊、人家・物置損壊
	古殿町	1ヶ所	30,000 千円	人家・墓地裏の山腹崩壊、墓石損壊
	平田村	1ヶ所	15,000 千円	山腹崩壊、河川に土砂流出
	天栄村	2ヶ所	48,000 千円	山腹崩壊、人家・用水路に土砂流出
	石川町	1ヶ所	25,000 千円	人家裏の山腹崩壊、土砂流出
	田村市	1ヶ所	15,000 千円	山腹崩壊、用水路に土砂流出
	須賀川市	1ヶ所	60,000 千円	溪流から市道及び基地に土砂流出
管内計	14ヶ所	423,000 千円		
県南	白河市	3ヶ所	40,800 千円	山腹崩壊、国道等へ土砂流出
	棚倉町	1ヶ所	20,000 千円	山腹崩壊及び溪流からの土砂が町道へ流出
	管内計	4ヶ所	60,800 千円	
会津	柳津町	1ヶ所	1,000 千円	護岸工損壊
	猪苗代町	1ヶ所	15,000 千円	溪流から県道及び人家敷地に土砂流出
	管内計	2ヶ所	16,000 千円	
南会津	南会津町	4ヶ所	100,500 千円	溪流から国道、町道及び農地に土砂が流出
	下郷町	2ヶ所	55,000 千円	溪流から県道に土砂が流出
	管内計	6ヶ所	155,500 千円	
相双	相馬市	3ヶ所	97,000 千円	国道115号線で空き家が土砂と共に流出ほか
	南相馬市	4ヶ所	238,520 千円	山腹崩壊、土砂流出、負傷者・家屋損壊
	檜葉町	1ヶ所	200 千円	人家裏の山腹崩壊、土砂流出
	管内計	8ヶ所	335,720 千円	
いわき	いわき市	6ヶ所	138,250 千円	山腹崩壊、国道・農地等へ土砂流出。 市体育館・店舗損壊。
	管内計	6ヶ所	138,250 千円	

被害合計	21市町村	52ヶ所	1,630,770 千円
------	-------	------	--------------

林道施設被害状況【確定報】

別紙 5

令和元年11月 13日(水)11:00現在

(※下線部は前回報告からの変更箇所)

農林水産部 森林林業総室 森林整備課

管内	市町村名	箇所数	金額	被災状況等
県北	福島市	18 路線	53,000 千円	路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等 * 1伊達市柳沢線(集落生活道): 路体流出→応急復旧完了
	伊達市*1	31 路線	268,200 千円	
	二本松市	28 路線	255,300 千円	
	国見町	3 路線	491,165 千円	
	川俣町	5 路線	118,300 千円	
県中	郡山市	18 路線	9,312 千円	路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等
	田村市	65 路線	261,423 千円	
	天栄村	6 路線	15,580 千円	
	須賀川市	15 路線	44,430 千円	
	古殿町	36 路線	259,450 千円	
	石川町	4 路線	1,030 千円	
	三春町	2 路線	700 千円	
小野町	3 路線	400 千円		
県南	白河市	20 路線	193,400 千円	路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等
	西郷村	4 路線	1,500 千円	
	泉崎村	2 路線	1,800 千円	
	棚倉町	17 路線	56,800 千円	
	矢祭町	7 路線	85,300 千円	
	塙町	25 路線	43,950 千円	
	鮫川村	5 路線	3,800 千円	
会津	喜多方市	1 路線	1,400 千円	路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等
	柳津町	4 路線	58,400 千円	
	三島町	4 路線	4,100 千円	
	会津美里町	15 路線	68,700 千円	
	会津若松市	10 路線	9,650 千円	
南会津	南会津町	40 路線	143,749 千円	路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等
	下郷町	20 路線	196,560 千円	
	只見町	4 路線	84,500 千円	
	檜枝岐村	1 路線	15,000 千円	
相双	相馬市*2	16 路線	300,680 千円	路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等 * 2相馬市坂下新宿線(集落生活道): 路体流出→応急復旧完了。
	南相馬市	21 路線	437,500 千円	
	檜葉町	1 路線	26,700 千円	
	富岡町	3 路線	57,111 千円	
	大熊町	2 路線	147,800 千円	
	葛尾村	4 路線	13,400 千円	
	新地町	2 路線	600 千円	
	飯館村	13 路線	19,800 千円	
	川内村	21 路線	344,261 千円	
	浪江町	2 路線	6,861 千円	
	広野町	6 路線	48,700 千円	
いわき	いわき市	110 路線	394,070 千円	柿ノ沢線:擁壁傾き、人家被災 その他路線:路体崩壊・法面崩壊、路面洗掘等

被害合計 41 市町村 614 路線 4,544,382 千円

台風19号による林業関係被害状況取りまとめ(林産物・林産施設・苗畑施設)

11月13日(水)11時現在

農林水産部 森林林業総室 森林整備課・林業振興課

農林事務所	市町村名	被害額(千円)	状況
県北	二本松市	2,350	菌床しいたけ栽培ハウス2棟が損壊、菌床に被害。(1件)
	福島市	7,160	製材工場が浸水。(1件)
県中	郡山市	1,762,750	木材加工工場、事務所、製材工場が浸水。(3件) 菌床しいたけ栽培施設(空調施設3棟、パイプハウス6棟)が損壊、事務所が浸水。菌床培地等が流出。(1件)
	古殿町	135,160	製材工場が浸水。(1件) 製材工場の丸太が流出(1件)
	玉川村	6,000	製材工場が浸水。(1件) チップ工場の法面が崩落。(1件)
	小野町	2,000	製材工場が浸水。(1件)
	鏡石町	1,000	菌床しいたけ仕込み施設が浸水。(1件)
県南	矢祭町	46,023	製材工場が浸水。(1件)
	塙町	1,400	製材工場敷地の浸食・流出。(1件)
会津	猪苗代町	5,060	強風により工場(シャッター)が破損。(1件)
相双	南相馬市	1,000	苗畑施設(ビニールハウス1棟)損壊。(1件)
	相馬市	46,500	製材工場が浸水。(1件)
	浪江町	67,150	製材工場が浸水。(1件)
いわき	いわき市	77,895	製材工場が浸水。(3件) 苗畑0.11ha(苗木14,000本)水没。(1件) 菌床製造施設の高潮被害。(1件)
合計		2,161,448	23件
うち木材		2,020,496	17件
うち特産		138,300	4件
うち苗畑		2,652	2件

台風19号による林業関係被害状況取りまとめ(林業構造改善事業整備施設)

11月13日(水)11時現在

農林事務所	市町村名	被害額(千円)	状況
いわき	いわき市	19,000	体育館への土砂流入。(1件)

総計	2,180,448	24件
----	-----------	-----

(別紙7)

台風19号による林業関係被害状況取りまとめ(森林被害) 【確定報】

11月13日(水)11時現在

農林水産部 森林林業総室 森林保全課

農林事務所	市町村名	被害額(千円)	状 況
県北	伊達市	387	倒木被害 2カ所 計0.14ha
会津	猪苗代町	90	昭和の森 風害折損 0.5ha
相双	相馬市	1,136	倒木被害 4カ所 計0.36ha
相双	南相馬市	256	倒木被害 2カ所 計0.09ha
相双	新地町	515	倒木被害 0.54ha
いわき	いわき市	312	倒木被害 4カ所 計0.24ha
計	6市町	2,696	14カ所 1.87ha

査定前着工制度の活用状況
(応急仮工事・応急本工事実施地区)

令和01年11月13日(水) 12:30 現在

(※下線部は前回報告からの変更箇所)

農村整備総室 農村基盤整備課

所在地	事業主体	地区名	工種	被害額 (千円)	実施額 (千円)	本・仮	着手日
飯舘村	飯舘村	大倉	営農飲雑用水施設	40,000	10,000	仮	R1.10.16
玉川村	玉川村	三ツ池	ため池	10,000	300	仮	R1.10.17
玉川村	玉川村	竜崎	農業集落排水施設	200,000	70,000	仮	R1.10.18
郡山市	郡山市	阿久津	農業集落排水施設	300,000	65,000	仮	R1.10.18
郡山市	郡山市	木村・小泉	農業集落排水施設	200,000	65,000	仮	R1.10.18
鏡石町	鏡石町	成田	農業集落排水施設	100,000	50,000	本	R1.10.18
相馬市	相馬市	坂下	営農飲雑用水施設	<u>300,000</u>	30,000	仮	R1.10.25
白河市	矢吹原土地改良区	大信	頭首工	15,000	15,000	本	R1.10.25
須賀川市	須賀川市	和田	農道	5,000	300	本	R1.10.25
須賀川市	須賀川市	上小山田	農道	6,000	500	本	R1.10.25
南相馬市	南相馬市	西長迫	農地(田)	7,000	1,500	仮	R1.10.26
川内村	川内村	上川内	農業集落排水施設	100,000	30,000	本	R1.10.28
須賀川市	須賀川市	滑川	農道	3,000	500	仮	R1.10.29
相馬市	相馬市	坂下	営農飲雑用水施設	(再掲)	<u>3,500</u>	本	<u>R1.11.8</u>
本宮市	福島県	白沢	揚水機場	<u>900,000</u>	<u>200,000</u>	仮・本	<u>R1.11.12</u>
計	<u>10市町村</u> <u>(うち1県)</u>	<u>14地区</u>		<u>2,186,000</u>	<u>541,600</u>		

<査定前着工制度>

査定前着工（応急工事）は、災害査定を待たずに復旧工事に着手できる制度。

復旧を急げば次の作付けに間に合う農地・農業用施設の復旧や、集落排水施設のように生活に直結した施設を早急に復旧する必要がある場合に活用できる。

<応急仮工事>

災害が発生し、そのまま放置すると被害が拡大する恐れがある場合に、必要に応じて事業主体（市町村等）の判断で実施した応急仮工事（仮設的な工事）も補助対象とすることができる。

<応急本工事>

応急本工事は、復旧計画樹立後、査定を待たずに災害復旧事業（復旧事業費が40万円以上であること）の一部又は全部を緊急に実施する復旧工事。

1 除染土壌等

施設等	状況
除染仮置場 関連	<ul style="list-style-type: none"> ●田村市フレコンバッグ流出関連 <ul style="list-style-type: none"> ・フレコンバッグの流出推計総数については30袋で、11/1（金）までに25袋を発見、回収（うち17袋は空）。（全て可燃物で、線量は0.3～1.0μSv/hである。） ●二本松市フレコンバッグ流出関連 <ul style="list-style-type: none"> ・フレコンバッグの流出推計総数については15袋で、隣接する口太川（くちぶとがわ）の下流域で調査中であり、10/24（木）までに8袋回収（中身は全て空）。（全て可燃物で、線量は0.09～0.13μSv/hである。） ●川内村フレコンバッグ流出関連 <ul style="list-style-type: none"> ・フレコンバッグの流出推計総数については44袋で、10/31（木）までに20袋を発見、回収（うち4袋は空）。（全て可燃物で、線量は0.18～0.25μSv/hである。） ●国直轄の被害状況（福島地方環境事務所情報） <ul style="list-style-type: none"> ・飯舘村内の仮置場からフレコンバッグ1袋の流出を確認し、回収済み。 ・本件以外の仮置場からの流出は、現在のところ確認されていない。 ●10/25（金）大雨による被害が想定される市町村において、仮置場の状況を確認し、被害報告なし。 <ul style="list-style-type: none"> ・異常なし、新たな流出なし（15市町村）：福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、泉崎村、三春町、広野町、川内村

2 廃棄物処理施設等

施設等	状況
一般廃棄物 処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ●富久山クリーンセンター（郡山市） <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ焼却施設の1階タービン室が浸水し、運転停止中。<u>12月下旬までに仮復旧できる見通し</u> ・し尿処理施設の地下ポンプ室への浸水のため停電し、運転不可の状況。

3 公共交通機関

施設等	状況
鉄道（JR）	<ul style="list-style-type: none"> ●磐越東線 <ul style="list-style-type: none"> ・郡山～小野新町間：11/6（水）から運転再開（一部運行時刻変更あり）。 ・小野新町～いわき間：11/16（土）から運転再開見込み。 ※10/30（水）から臨時バス運転実施
阿武隈急行	<ul style="list-style-type: none"> ●運行状況 <ul style="list-style-type: none"> ・福島～富野駅間は通常運行中。 ・富野以北は当面運行できない状況。
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ●県内各路線バスは道路状況等に応じ運行。 ●福島交通郡山支社冠水の影響により、同支社管内の一部路線を終日運休。 ●東京都が11/6（水）に都営バスとして使用を終了する車両11両を福島交通に無償譲渡すると発表。（4両引き渡し済み、残りは今年度中に引き渡し。）

4 その他

項目	状況
災害廃棄物 処理関連	<p>＜生活ごみ等関連＞</p> <p>【郡山市の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活ごみ：県内の5自治体及び国の仮設焼却施設（南相馬市、浪江町）において処理を実施中。 ●し尿：県内5自治体において処理を実施中。 <p>＜災害廃棄物関連＞</p> <p>【仮置場の設置状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仮置場設置（22市町村）：郡山市、いわき市、須賀川市、相馬市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、川俣町、鏡石町、猪苗代町、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、石川町、玉川村、浅川町、古殿町、川内村 <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10/15（水）から環境省派遣の支援員と連携し、21市町村に延べ69回訪問し、仮置場管理や災害廃棄物処理に関する助言等を実施。 ・11/8（金）以降、いわき市6回、本宮市2回、郡山市、相馬市、二本松市、伊達市各1回訪問。 ●災害廃棄物の処理を早期に実施するため、11/11（月）から一般廃棄物課内に「災害廃棄物処理担当ライン」を新設。 ●災害廃棄物等の処理を円滑に進めるため、11/13（水）付けで、「令和元年台風第19号等により発生した災害廃棄物等処理の基本的考え方」（別紙）を取りまとめ、公表。 ●10/30（水）及び11/13（水）に、市町村担当者を対象とした災害等廃棄物処理事業補助金等に関する事務説明会を開催。
悪質商法等	<ul style="list-style-type: none"> ●台風19号による被害に便乗した悪質商法等の注意喚起を報道機関に依頼。 ●10/28（月）から、被害に便乗した悪質商法等について、テレビCMにより注意喚起。
劇毒物の 流出	<ul style="list-style-type: none"> ●10/16（水）に郡山市のメッキ工場（A社）から、10/18（金）にA社近接の別のメッキ工場（B社）から、シアン化ナトリウムの流出を確認。 ●B社は、11/1（金）以降の水質検査では検出されず。 ●A社が排水処理施設を稼働後、11/8（金）に郡山市が施設内の処理水を検査した結果、0.1mg/lを検出（排水基準0.5mg/l）。放流先の水路では検出せず。 ●郡山市の土壌調査の結果では、A社周辺、B社周辺ともに検出せず。 ●対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市の健康調査の結果、健康被害は確認されていない。 ・A社工場では、敷地内及び工場出口調整池の滞留水の回収と工場出口調整池に放流先水路への流出防止措置を実施した。 ・B社工場では、流出先側溝での廃液回収、敷地外への流出防止、工場内の廃液回収を継続して実施している。 ●A社及びB社とも自社でシアン化合物を含む排水を排水基準に適合するよう処理することが可能となったため、11/8（金）で国、県、市が実施していた水質検査を終了。

項目	状況
有害物質の流出	<p>●本宮市の再生有機溶剤製造業者（C社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/14(月)、事業場内に保管していたドラム缶等が流出したことを確認し、一部に有害物質（トリクロロエチレン等）が含まれていることから、県において10/15(火)、16(水)に阿武隈川で水質検査を実施したが、いずれも検出せず。 ・C社において、捜索及び回収を実施中であり、<u>11/12(火)までにドラム缶287本（有害物質を含むもの15本）、一斗缶1,361缶（有害物質を含むもの1缶）等を回収。</u> ・10/30(水)、国から宮城県^{かくた}角田市のゴルフ場に一斗缶3缶とプラスチック容器1個（容器が破損し内容物が流出して刺激臭がしている）が漂着しているとの連絡があり、C社が回収を行った。（内容物はイソプロピルアルコールで、環境法令上の有害物質ではない。） ・11/8(金)、C社から法に基づく事故発生の届出があり、流出数量（総計2,609体）の報告があった。 <p>●本宮市の金属表面処理業者（D社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風19号の被害を踏まえ、各地方振興局において、10/18(金)から有害物質を扱っている工場等の状況調査を実施。 ・10/19(土)の現地調査の中で、D社工場からふっ素化合物溶液の流出の可能性を確認（事業者不在）し、県において同日、阿武隈川で水質検査を行い、全て環境基準以下であることを確認。 ・10/21(月)に改めて立入検査し、ふっ化水素アンモニウム溶液約200Lと、その廃液が入った500L入りタンク2個が流出したことを事業者を確認。 ・D社において、所在不明のタンクの捜索を実施。11/4(月)に2個を回収。（うち1個は容器が破損し、内容物が流出した状態で回収。） ・<u>県において、11/8(金)に阿武隈川で水質検査を行い、全て環境基準以下であることを確認。</u>



令和元年台風第19号等により発生した災害廃棄物等処理の基本的考え方

令和元年11月13日

福島県生活環境部

令和元年台風第19号等により発生した県内の災害廃棄物等について、次の基本的考え方により処理を進める。

I 生活ごみ等

令和元年台風第19号により、郡山市においては、「一般廃棄物焼却施設」及び「し尿処理施設」が被災しており、生活ごみやし尿の処理が喫緊の課題であることから、県は、代替施設確保のため、国や県内外の自治体との広域調整を最優先に行うとともに、国に対して必要な財政的支援等を要望する。

また、被災した施設の早期復旧に向け、国に対して技術的支援や財政的支援を要望する。

II 災害廃棄物

1 処理対象

令和元年台風第19号による大雨、暴風等及び同年10月24日から10月26日の低気圧等による大雨に伴い発生した災害廃棄物とする。

2 処理主体等

○災害廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により市町村が行うことを原則とする。

○県は、市町村が行う災害廃棄物の処理が円滑に進むよう、以下の支援等を行う。

- ・市町村（一部事務組合を含む。以下「市町村等」）、他都道府県、国、民間事業者団体等との広域的な連携調整
- ・市町村等が行う災害廃棄物処理への技術的支援
- ・情報の収集及び市町村等間における情報の共有
- ・災害廃棄物処理の進捗状況の把握
- ・市町村等による処理が困難であると認められる場合には、地方自治法の規定により、災害廃棄物の処理に関する事務を受託

3 発生量の推計値

約50万トン

※住家被害の状況等から片付けごみや家屋解体廃棄物の量を推計したものであり、流木や土砂等の災害廃棄物は含んでいない。

今後、災害廃棄物処理実行計画の策定等に向け、これらの数量を精査していく。

4 処理期間（目標）

発災後1年半での処理完了を目標とする。

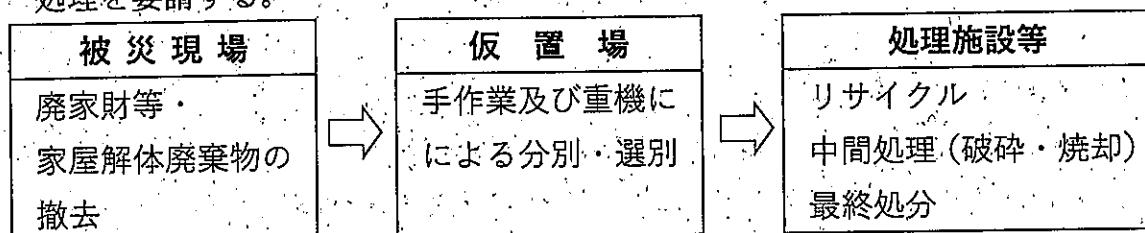
※ただし、災害廃棄物発生量の精査状況等を踏まえて適宜見直す。

5 処理方法

○生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市町村等、県、国、民間事業者等が連携し、迅速かつ適正に処理を進める。

○分別を徹底してリサイクルを図り、焼却処理量及び最終処分量を可能な限り低減する。

○各市町村等の一般廃棄物処理施設における処理を基本とするが、目標処理期間内での完了に向け、産業廃棄物処理施設や県内各市町村等の処理施設における広域処理を行うとともに、県外の廃棄物処理施設や国の仮設焼却施設における処理を要請する。



6 財源

国の災害等廃棄物処理事業費補助金を活用するとともに、国に対し必要な財政支援を要望する。

7 災害廃棄物処理実行計画

県及び被災市町村は、この基本的考え方を踏まえ、具体的な処理方法、スケジュール等を検討し、災害廃棄物処理実行計画を策定するものとする。

台風第19号による被害及び対応状況

10:00現在

1 保健福祉部関係施設の被害状況

(1) 社会福祉施設※断水のみを除く

- 特別養護老人ホーム
浸水(床上)、設備の一部損壊 2市2施設 復旧作業継続し運営
- 介護老人保健施設
浸水(床上)、設備の一部損壊 1市1施設 復旧作業継続し運営
- 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
浸水(床上)、土砂流入 4市町4施設
 - ・復旧作業継続し運営 3施設
 - ・復旧時期未定 1施設
- 障害福祉サービス事業所等
浸水(床上) 4市町6施設
 - ・復旧作業継続し運営 3施設
 - ・復旧時期未定 3施設

(2) 病院

浸水、設備の一部損壊 2市2病院 11/11 全ての外来診療科再開

(3) 水道施設

断水(最大) 18市町村 約77,400戸

→ 11/8 断水解消

2 健康管理等

(1) 保健福祉事務所、他団体保健師等の活動

避難所・在宅の避難者への、室内の清掃や食中毒防止等衛生面の確認・指導、感染症等予防のための健康調査・指導等の保健活動を実施。

- 県北、県中、相双保健福祉事務所が管内被災市町村と連携して、専門職による必要な支援ができるよう体制を整備。
- 保健福祉事務所が、被害の大きかった地域において市町村とともに避難者の健康状況等を確認。浸水被害を受けた世帯への訪問も実施。
- 県及び市町村栄養士、福島県栄養士会が避難所等における栄養指導を実施。

- 厚生労働省と連携して保健師を派遣。

派遣先	派遣元、人数	派遣期間
郡山市	青森県2名 青森市・八戸市、弘前市、三沢市 合同チーム 2名 計4名/日	10/19(土)～11/12(火)
	青森県・市合同 計2名/日	11/12(火)～11/29(金)
いわき市	県保健師 4名/日	10/21(月)～11/2(土)
	秋田県、札幌市、名古屋市、函館市、 京都府、京都市、大阪市、姫路市、 明石市、神戸市 各2名 計 20名/日	10/21(月)～11/1(金)
	秋田県・大阪市 計4名/日	11/2(土)～11/17(日) ※秋田県は11/15(金)で終了
本宮市	県保健師 計 6名/日	10/21(月)～10/27(日)
	愛媛県3名 県及び県内市町村 1～3名 計4～6名/日	10/28(月)～11/16(土) ※愛媛県は11/15(金)で終了
	県保健師 計 2名/日	11/18(月)～11/30(土)

- 教育庁から依頼のあった県立学校4校への環境衛生、健康教育支援を10/28、10/29に実施。
- いわき市保健所におけるノロウイルス集団発生公表を受け、中核市を含む避難所設置市町村に注意喚起の通知を发出(10/29)。
- 各保健福祉事務所感染症予防チームが避難所で感染症リスクアセスメントを実施(10/30～11/1)。

(2) 災害医療派遣チーム等の活動

- DMAT (災害医療派遣チーム)
- ・10/13～21 最大30チーム延べ90人が10市町村で活動
- JMAT (日本医師会災害医療チーム)
- ・10/14から活動開始 最大10チーム延べ20人が5市町村で活動
 - ・現在、いわき市医師会2チームがいわき市で活動
- DPAT (災害派遣精神医療チーム)
- ・10/14から活動開始 最大6チーム延べ48人が3市町村で活動
- JRAT (大規模災害リハビリテーション支援チーム)
- ・10/13から活動開始 最大3チーム(1チーム2～5人)が3市で活動
 - ・現在、2チームが3市で活動中
- 福島県看護協会災害支援ナース
- ・10/16～31 延べ25人が5市町村で活動
- DWAT (災害派遣福祉チーム)
- ・11/1～3 1チーム3人が本宮市で活動
 - ・11/6～8 1チーム3人がいわき市で活動
 - ・11/11～13 1チーム3人が郡山市で活動

3 災害ボランティア（募集窓口 各市町村社会福祉協議会）

福島県社会福祉協議会がボランティアセンター設置をコーディネート。市町村社会福祉協議会、NPO、企業等が団体でのボランティア活動を検討している場合には、県社協が被災地とのマッチングを行う。

○ 災害ボランティア活動者数 延べ 18,553 人（11/11 現在速報値）

	募 集 範 囲			
	限定無し	県内 の方	自市町村 及び 近隣市町村	自市町村 のみ
募集中 6市町村	本宮市、川俣町、郡山市、 須賀川市、いわき市、			二本松市
終了 10市町村	福島市、伊達市、石川町、 相馬市、南相馬市	玉川村	鏡石町、 田村市	浅川町、 三春町

※須賀川市は、11月以降、原則土曜日に災害ボランティアを受入れ
本宮市は、11月11日～15日及び17日は活動休止

4 義援金

- 県「令和元年台風19号災害義援金」を10/17(木)から受付開始。
ゆうちょ銀行、東邦銀行、福島銀行、大東銀行
- 日赤県支部「令和元年福島県台風第19号災害義援金」を10/16(水)から受付開始。

5 医療保険の窓口負担及び介護保険の利用料の全額免除措置

国民健康保険及び介護保険の被保険者で、災害救助法の適用市町村の被災者を対象に医療保険の窓口負担や介護保険の利用料の支払を不要とする。

(1) 対象者

- ・罹災証明書の提示は必要なく、窓口で被災状況を口頭で申告する。
- ・後日、加入する保険者から確認が行われることがある。
- ・詳細は各保険者に問合せいただく。

次の①～⑤のいずれかに該当する方

- ①住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をされた方
- ②主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負われた方
- ③主たる生計維持者の行方が不明である方
- ④主たる生計維持者が業務を廃止、又は休止された方
- ⑤主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方

(2) 対象期間

令和2年1月末まで

(3) 対象保険者

- ・ 災害救助法適用市町村のうち 47 市町村(国民健康保険・介護保険)
福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、
喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、
本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、
檜枝岐村、只見町、猪苗代町、会津美里町、西郷村、泉崎村、
中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、
玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、楡葉町、
富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、
飯館村
- ・ 福島県医師国保組合(国民健康保険)

上記以外に福島県後期高齢者医療広域連合、全国健康保険協会も実施。

6. 生活福祉資金(緊急小口資金) 特例貸付

生活福祉資金(緊急小口資金) 特例貸付を 11/11 開始(一部は 11/18～)

- 実施主体：福島県社会福祉協議会
- 貸付対象
 - ・ 被災された方で県内に住所を有し、当座の生活費を必要とする世帯
 - ・ 他都道府県から避難し、当分の間県内に居住される方で、当座の生活費を必要とする世帯
- 貸付限度額
原則として1世帯につき1回限り10万円以内
(世帯状況により20万円以内)
- 受付窓口 各市町村社会福祉協議会

台風19号等による被害状況と対応について

令和元年11月13日(水)
13時30分現在

《被害状況》

1 企業・工業団地の被害状況

地方	市町村名	地区	業種等	被災状況等
県北	福島市	南福島地区	ガラス繊維製造業	先月31日より、一部の機械を稼働し、生産を再開。11月末の完全復旧に向けて対応中。
		佐倉西工業団地	輸送用機械器具製造業	被害無く、通常操業中。取引先数社が被災したが、生産に今のところ影響なし。
	二本松市	平石高田工業団地	鉄鋼業	片づけを終了し、設備の修理等を行っている。通常再開は11月を見込む。
	伊達市	梁川工業団地	電子デバイス製造業	東北電力との電気の接続は11月中旬予定。現在非常用発電で設備稼働状況を確認中。設備点検の進捗見込みは11月末で全体の1割程度であり、現時点で再開の見通しは立たない。
			非鉄金属製造業	通常生産まで回復。一部修理中の機械はある。
			【工業団地の状況】	団地全体が冠水。水は既に完全に引けており、車両などの通行も通常どおり。
		梁川町	食料品製造業	床上浸水し、機器類が故障あり。操業は再開し、フル稼働中。
			繊維工業	1.8mの浸水により、編み機・機械・原材料の全てが水没。操業再開の見通しは立たず。
			繊維工業	全ての工場で1階部分浸水。5日より電気が復旧し、2階で一部操業再開も本格復旧の時期は見通し立たず。
		伊達第一工業団地	食料品製造業	約80cm浸水。11月から一部操業再開。機械設備の点検が終わり、使用可能な機械から稼働。全面再開時期はまだ未定。
			金属製品製造業	約1m浸水。11月から一部(2割弱操業再開)。全ての機械とトラック8台が水没。全面再開まで2~3ヶ月かかる見込み。
			【工業団地の状況】	浸水被害あり。
		見城坂工業団地	【工業団地の状況】	調整池法面崩落。操業に影響なし。
	本宮市	糠沢地区	金属製品製造業	浸水被害あり(約1m20cm)。キュービクルの故障で通電できない状態。水、電話も不通。操業再開までには期間を要する見込み。
		本宮地区	縫製業	1日までに一部操業を再開。
			医療機器販売・卸売業	1週間ほどかけて片づけを行った。現在業務は再開している。
	桑折町	桑折工業団地	輸送用機械器具製造業	工場に被害なく生産に影響ないが、県内及び県外(長野県)のサプライヤーが被災し操業停止中で、今後影響が生じる可能性あり。
			印刷業	浸水し建物と設備に被害。営業再開は未定。
	川俣町	川俣西部工業団地	【工業団地の状況】	団地入口の法面が一部崩落、操業に影響なし。
		中山工業団地	【工業団地の状況】	法面が一部崩落、操業に影響なし。
県中	郡山市	郡山中央工業団地	精密機械器具製造業	清掃を終え、機械設備を点検中。電気、上水道は問題なし。11月中旬の事業再開見込み。
			木材加工業	片づけが終わり機器点検中。協力会社に外注して対応中。
			電子デバイス製造業	復旧は12月中旬以降の見込み。現在、国内の他の生産拠点から納品中も操業停止が長引けば納品に影響が出る可能性あり。
			食料品製造業	約1.5m浸水。水が引き清掃作業や設備点検等を進め、通常操業再開済み。今後、一部設備の修理・入れ替えなどは必要あり。
			電気機械器具製造業	一部稼働中。通常稼働は11月になる見込み。その他設備の完全復旧には3ヶ月はかかる見通し。

地方	市町村名	地区	業種等	被災状況等
県中	郡山市	郡山中央工業団地	金属製品製造業	本社・第一・第二工場が全て1.5m以上の浸水。キュービクルの浸水により、電気が止まっていたが、先月25日に一部通電・電話可能となったので、2階で事務所を再開した。キュービクルの全面復旧後に設備の確認になるが、見通しは立たない。
			生産用機械器具製造業	工場・事業所とも1m以上浸水。ほとんどの設備・什器が浸水。現在、機械を洗浄し乾燥させている。先月28日から通電し、修繕・廃棄を判断する。生産再開見込みは11月上旬。復旧までは本社（県外）にて対応。
			業務用機械器具製造業	建物は1.7m浸水。機械設備の動作確認中。取引先を問借りして業務継続も、通常時の7割程度の稼働。
			金属製品製造業	他社から設備を借りて操業維持し、稼働は4割程度。浸水した設備を洗浄し乾燥中。乾燥に2～3週間要し、その後稼働可能かを確認。また、メインのキュービクルの復旧に年内かかる見込み。
			医療機器製造業	電気が仮復旧。機械はほぼ全損しており、事業再開の目途は立っていない。
			【工業団地の状況】	大規模冠水。被害詳細確認中。
	郡山食品工業団地	食料品製造業	部品交換を終了。生産ラインは概ね稼働しているが、修理で対応できない部分で一部手作業が有り、6割程度の稼働。	
		食料品製造業	郡山中央団地の商品包装箱・包装紙業者が被災しているが、11月中には台風以前の状況に復旧する見込み。	
		食料品製造業	工場は被害なく通常どおり稼働中。原材料の納入が一部滞っており、今後一部減産の可能性あり。	
		【工業団地の状況】	団地内の複数箇所で浸水があったが、床上浸水は1社だけ。過去の8.5水害の教訓で工場の基礎を高くしている企業が多いため。	
	安積地区	金属材料等卸売業	倉庫内1m浸水。在庫・機械・車輛・フォークリフトに大きな被害。他県同業者の協力で納入遅延は無い。	
	横塚地区	医療機器製造業	工場2階の製造に関しては被害無く、操業に影響は無い。1階の営業部分に関しては電気等が故障中のまま。	
	須賀川市	下宿地区	有機化学工業製品製造業	先月27日に電源室が復旧し、28日から一部製造再開。医薬工場は断熱材の張替などの後に稼働再開予定で、まだ時間を要する。医薬以外は徐々に製造を増やしている状況。
		森宿地区	金属材料等卸売業	一部重機に故障があったが、完全操業再開している。
		須賀川テクニカルリサーチガーデン	【工業団地の状況】	一部区画（未分譲区画）で小規模な法面の崩壊、団地内の立木の倒壊あり。操業に影響なし。
		卸団地	【工業団地の状況】	浸水被害あり。
	田村市	田村西部工業団地	輸送用機械器具製造業	上水道の断水が復旧し、通常どおり操業している。
		田村西部工業団地船引第二工業団地	【工業団地の状況】	上水道が復旧し、供給再開済み。
		船引町	業務用機械器具製造業	製造部門がほぼ全損。修理の見積もり依頼を出しているが、期間を要する見込み。従業員は別工場に派遣中。
		都路町	食品加工	建設中の工場用地が冠水し、原状回復に1ヶ月程度を要すると思われる。工期に遅れが生じる見込み。
鏡石町	誠訪町	金属製品製造業	工場の1棟が50cmほど浸水。切断機械等が故障、部品交換・修理で対応する予定。現在の稼働状況は7割。仕入先が郡山中央工業団地で被災した。	
	河原	プラスチック製品製造業	1.5mの浸水により、設備・変電機が全て使用不可。年内には再開したいが見通し立たず。	
浅川町	大養輪	医療・理化学機器製造業	一部浸水したが、短時間で清掃し、通常操業中。	

地方	市町村名	地区	業種等	被災状況等
県南	白河市	工業の森B工区	【工業団地の状況】	周囲（市有地）法面4か所崩落。操業に影響なし。
		工業の森C工区	【工業団地の状況】	市道法面崩落。操業に影響なし。
	泉崎村	泉崎中核工業団地	【工業団地の状況】	団地内で法面崩壊あり。操業に影響なし。
	棚倉町	上台	採石業	採石場や工場など、製造業部門は影響ないが、経営するガソリンスタンドが浸水被害により営業停止中。
相双	相馬市	相馬中核工業団地	輸送用機械器具製造業	先月18日から工業用水が取水可能。23日から通常操業再開。
			エネルギー業	操業停止していたが、工業用水が取水可能となり、先月21日より操業再開。
		輸送用機械器具製造業	先月18日まで断水により操業停止。工業用水の復旧により、21日から通常操業。丸森町からの通勤不能者あり。	
		【工業団地の状況】	工業用水が取水可能となる。	
	相馬南第二工業団地	輸送用機械器具製造業	先月19日に水道が復旧し、21日から通常操業再開。	
	尾浜地区	食料品製造業	水道復旧も飲用不可のため製造再開できず。在庫の出荷と水を使わない作業のみ行っていた。先月21日から飲用可になり製造再開。	
	南相馬市	原町区	土石製品製造業	機械設備が水没したため、モーターを交換し、一部業務のみ先月23日から操業再開。
	川内村	田ノ入工業団地	【工業団地の状況】	法面が一部崩落、操業に影響なし。
	新地町	福田地区	プラスチック製品製造業	断水により、一部操業を停止。先月22日から通常操業再開済み。
		新地南工業団地	【工業団地の状況】	断水していたが、上水道の供給再開済み。
いわき	いわき市	四倉中核工業団地	鉄鋼業	操業に支障は無い。先月25日給水回復を確認。
			土石製品製造業	先月24日に給水回復。通常通り操業中。
			業務用機械器具製造業	先月25日に給水回復。通常通り操業中。
			土石製品製造業	先月24日に給水回復。通常通り操業中。
			土石製品製造業	先月23日から通水再開。操業に支障は無い。
			プラスチック製品製造業	先月24日に給水回復。通常通り操業中。
			【工業団地の状況】	給水回復。
		好間中核工業団地	生産用機械器具製造業	先月28日給水回復を確認。
			【工業団地の状況】	工業用水の給水回復。
		好間地区	ロボット開発製造	事務所の片づけは終了。当面は営業機能を再開する。
		落合工業団地	医薬品製造業	台風と25日の大雨の両方で冠水。25日の方が被害が大きい。工場は北側と南側があり、南側は操業再開するも北側は復旧できていない。
		赤井地区	輸送用機械器具製造業	先月25日から一部生産再開。
			プラスチック製品製造業	操業再開の目途は立っておらず、かなりの時間を要する見込み。現在機械設備の点検を慎重に行っている。
		小川地区	輸送用機械器具製造業	先月28日給水回復を確認。

○ 10月25日の大雨による被害状況

- ・床上浸水あり。台風19号で厨房機器が水没し、代替品を発注していたが納品前だったので難を逃れた。29日から営業規模を縮小して店舗営業再開。完全復旧は冷凍ケース等の交換が終了してからの見込み。(相馬市、食品加工販売)
- ・先の台風の被害に加え、再び浸水の被害を受け、ポンプなどの機器が水没。操業再開が遅れる見込み。(いわき市、医薬品製造)

2. 県内事業者の被害状況

(1) 商工団体

※商工会の被害状況は、商工会連合会を通じて被害が確認されたもの。引き続き確認中。

① 県北管内

浸水被害報告あり・・・国見町商工会(2)、保原町商工会、本宮市商工会、あだたら商工会(20)、福島商工会議所、二本松商工会議所、伊達市商工会

② 県中管内

浸水被害報告あり・・・富久山町商工会(31)、安積町商工会(90)、田村町商工会、大東商工会、船引町商工会(16)、石川町商工会、鏡石町商工会(4)、須賀川商工会議所、郡山商工会議所

③ 県南管内

浸水被害報告あり・・・棚倉町商工会(2)、矢祭町商工会、塙商工会(9)、白河商工会議所

④ 南会津管内

被害報告あり・・・南会津町商工会(3)

⑤ 相双管内

浸水被害報告あり・・・楡葉町商工会(6)、富岡町商工会(6)、大熊町商工会(10)、双葉町商工会(3)、浪江町商工会(3)、飯館村商工会、川内村商工会(31)、相馬商工会議所、原町商工会議所、宇多川町商店街振興組合(相馬市)、相馬市駅前商店街振興組合

⑥ いわき管内

浸水被害報告あり・・・好間町商工会、内郷商工会(20)、小川町商工会(20)、いわき商工会議所
被害報告あり・・・四倉町商工会、久ノ浜商工会

(2) 商業施設

① 主なスーパーマーケット等の営業状況

○下記の店舗について、浸水被害により営業を見合わせている。

(主なスーパーマーケット)

- ・ヨークベニマル新本宮館町店(本宮市)
- ・ヨークベニマル梁川店(伊達市)
- ・リオンドール浅川店(浅川町)
- ・業務スーパー安積店(郡山市)

(主なホームセンター)

- ・ダイユーエイトいわき好間店 (いわき市)
- ・ダイユーエイト浅川店 (浅川町)
- ・コメリ赤井店 (いわき市)

②公設商業施設

避難解除等区域において市町村が設置している公設商業施設 (10市町村 11施設) については、通常どおり営業中。

3 商工業の被害金額 (市町村発表データ)

- ・本宮市 282事業所 61億1,244万円

4 商工労働部関係施設の被害状況等

- ・一部の施設で倒木等の被害が発生しているものの、大きな被害はなし。
- ・郡山市社会福祉協議会より災害ボランティアセンターの開設依頼があり、それを受けてテクノアカデミー郡山校内に10月20日から設置。
- ・当センターとして利用する (貸し出す) 施設は、体育館、車庫、駐車場の一部、及び付帯施設 (トイレ、水道等)。

5 その他

- ・「大規模災害時における労働・社会保険等の相談に関する協定」(平成28年8月締結)に基づき、福島県社会保険労務士会が、台風19号に伴う被災中小企業や被災労働者からの労働関係の相談に応じる電話相談ホットラインを10月21日から開設。
- ・県制度資金に新たに「豪雨災害特別資金」を創設し、11月1日より県内金融機関での取り扱いを開始。
- ・11月8日、「台風19号等に係る支援施策の検討状況説明会」を福島市で開催 (東北経済産業局主催、福島県共催)。

<<課題>>

- (1) 商工業者からは、事業再開のための補助金を希望する声が多く、速やかな制度構築が必要。また、東日本大震災で被災した企業が再度被災した例も存在するため、事業再開・継続に向けた手厚い支援が不可欠。
- (2) 製造業においては、企業立地補助金を活用して取得した設備等について、浸水により毀損した事例も多く、設備の復旧における企業の負担軽減が課題。
- (3) 労働関係においては、現在のところ相談は少ないが、復旧が進み一段落した段階で、雇用の維持に係る相談が本格化するものと思われる。

<<今後の対応>>

- (1) 引き続き、市町村や商工団体と連携し、より詳細な被災状況等の情報収集を行うとともに、企業等の実情や要望等の把握に努める。10月28日から、商店街等の事業者の被害状況や要望等を聴き取り、今後の支援につなげるため、被災事業者の訪問調査を実施中 (222事業者訪問済)。
- (2) 国との調整を進めながら、県内商工事業者の事業再開・継続に向けた支援制度を早期に構築する。
- (3) 引き続き労働相談を受け付け、これから本格化すると考えられる雇用の維持に関する相談に、国の制度を説明するなど対応していく。



令和元年台風第19号等で被災した事業者等への支援策 (経済産業省関連)

1. 災害復旧等に向けた補助制度

(1) 中小企業等グループ補助金

- 被災した中小企業等で構成するグループの復興事業計画に基づき事業者が行う施設・設備復旧等の費用を補助。
 - 宮城県・福島県・栃木県・長野県：3/4補助(国1/2、県1/4)、上限15億円
 - ※ 東日本大震災からの復興途上にある宮城県・福島県：一定の要件の下、5億円まで定額補助(国2/3、県1/3)
- 事業者負担分については、中小機構による無利子融資を実施。

(2) 小規模事業者持続化補助金

- 被災した個々の小規模事業者が、機械・車両購入、店舗改装から広告宣伝まで事業再建に取り組む費用を幅広く補助。
 - 宮城県・福島県・栃木県・長野県：2/3補助、上限200万円
 - ※ 東日本大震災からの復興途上にある宮城県・福島県：一定の要件の下、定額補助
 - 上記4県を除く災害救助法が適用された10都県：2/3補助、上限100万円(直接被害のみ対象)

(3) 自治体連携型補助金

- 災害救助法が適用された14都県が地域の被災企業の復旧・再建を支援していく取組について、当該都県に対してその実施に係る経費の1/2を補助。(1)適用の4県に加え、岩手県・茨城県・埼玉県・千葉県・神奈川県には国の補助率を2/3に引き上げる(※事業者に対する補助率は最大3/4、補助上限は都県が設計)。

(4) 中小企業組合共同施設等復旧事業

- 災害救助法が適用された14都県の事業協同組合施設(倉庫、生産設備、加工施設、販売施設等)の災害復旧事業に要する費用を3/4補助(国1/2、県1/4)。

(5) 商店街補助金

- 災害救助法が適用された14都県の被災した商店街の共同施設(アーケードや電灯等)の改修等の補助(最大3/4補助(国1/2、県1/4))や、集客イベント等に取り組む費用を補助(上限100万円、定額又は2/3補助)。
- 宮城県・福島県・栃木県・長野県においては、中小機構による仮設店舗整備への支援を行う(定額補助)。

(6) よろず支援拠点事業・専門家派遣事業等

- 災害救助法が適用された14都県において、よろず支援拠点等の相談機関のコーディネーター等を増員し、経営相談対応の体制等を充実させる。

(7) 石油製品販売業早期復旧支援事業

- 災害救助法が適用された14都県の早期復旧、生活再建に必要なSS(サービスステーション)の機能回復のため、被害を受けた計量機等の設備等の補修又は入替工事に係る費用を3/4補助。

(8) 地域の魅力発信による消費拡大事業

- 被災地域の復興に向けた風評被害払拭や旅行者による需要喚起のため、当該地域にある地域資源の魅力を、メディア・インフルエンサー等の招聘や商談会・セミナー等を通じて情報発信・PRを行う。

2. 予備費以外の支援

(1) 日本政策金融公庫による資金繰り支援

- 災害救助法が適用された14都県で、直接・間接・風評被害を受ける中小企業・小規模事業者に対して、事業の復旧に必要な設備資金や運転資金を通常とは別枠で融資。直接被害者については最大1億円まで金利を▲0.9%引下げ。
 - 引き下げ後の金利：中小事業(1.11%→0.21%)、国民事業(1.36%→0.46%)

(2) 信用保証協会による資金繰り支援

- 災害救助法が適用された14都県で、一般保証(2.8億円、80%保証)とは別枠となるセーフティネット保証4号(2.8億円、100%保証※災害救助法適用地域)及び災害関係保証(2.8億円、100%保証※直接被害)を実施。

(3) 政府関係金融機関の運営に必要な経費 - 台風19号災害マル経

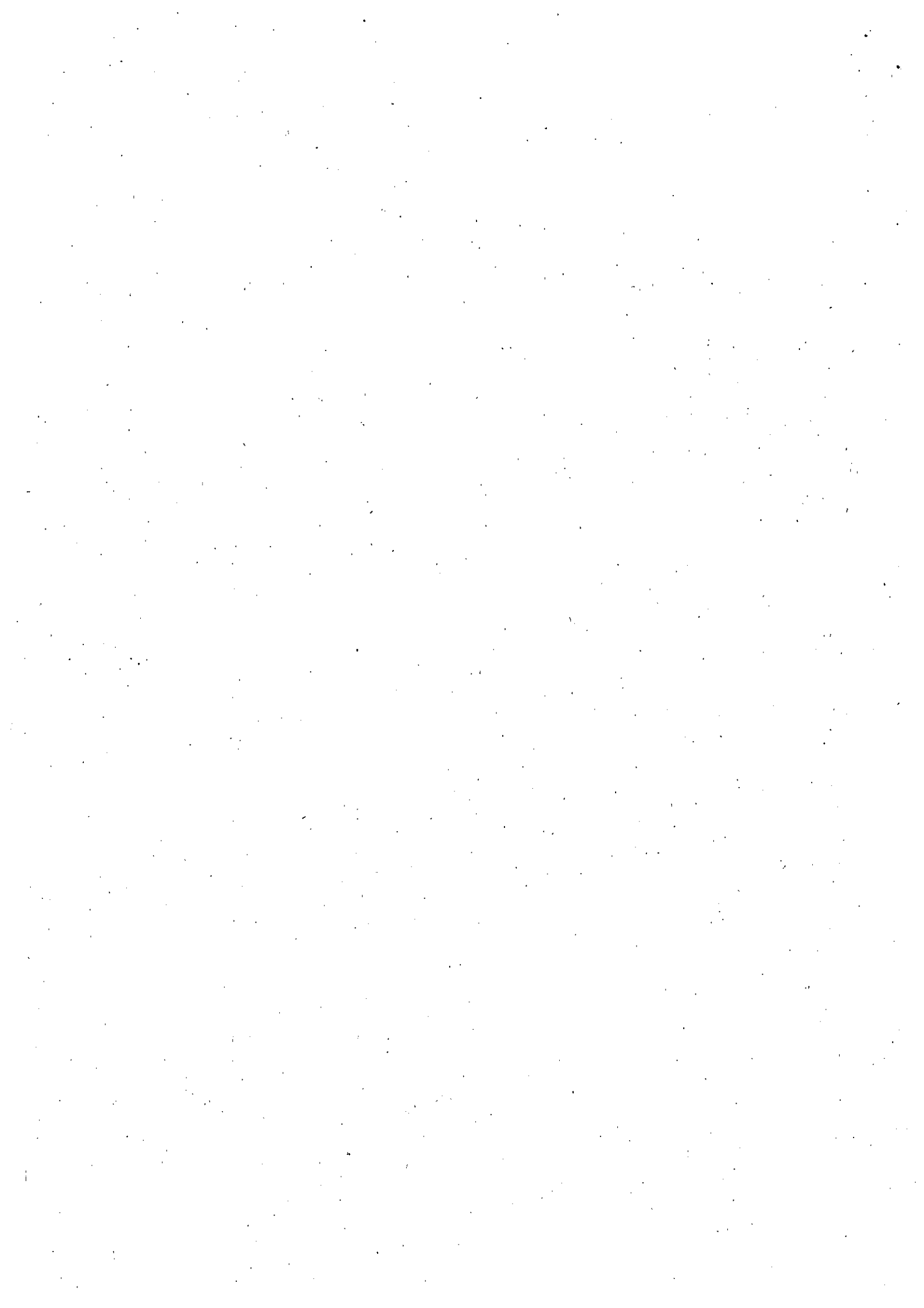
- 被災した小規模事業者の資金繰りを支援するため、小規模事業者経営改善資金融資制度(マル経)について、災害対応の別枠を設け、貸付金利を▲0.9%引き下げる。

(4) 小規模企業共済制度の特例災害時貸付け

- 被災した小規模企業共済の契約者に対し、一定額までの無利子貸付けを行う。

(5) 下請け中小企業等への配慮徹底

- 災害を理由とした取引解消を行わないよう、下請中小企業等への配慮を徹底する通達を業界団体・自治体へ発出。



旅館・ホテル等への二次避難について

I 要配慮者

1 目的

避難所に避難している要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児その他特に配慮を要する者)の、長期の避難生活による健康状態の悪化をできる限り防ぐための対策として実施する。

2 対象者

令和元年10月23日現在、避難所に避難している要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児その他特に配慮を要する者)とその家族

3 避難先の施設

県内の旅館・ホテル

(避難所と同一市町村内など、近隣の施設を優先的に割り当て)

4 申込方法・利用方法等

- ・入所している避難所の設置市町村に申し込む。
- ・10月24日(木)から受付開始、10月25日(金)から受入開始予定。
- ・受入期間は1週間。(ただし、延長できる場合あり)
- ・滞在費用の個人負担はなし。(追加料金等は別)
- ・受入施設には、一般の利用客もあり。

5 実績(11/13までの利用者総数)

- ・郡山市 3名 いわき市 11名 伊達市 6名 本宮市 4名
鏡石町 1名 合計 25名

II 要配慮者以外の避難者

1 目的

上記I-1に同じ

2 対象者

- ・令和元年10月23日現在、避難所に避難している避難者
- ・台風19号により被災し、り災証明書の交付を受け、かつ、避難所に登録した避難者
(上記I-2を除く)

3 避難先の施設

県内の旅館・ホテル(受入可能施設を各避難所に掲示予定)

4 利用形態

- ・1回の利用につき、2泊3日(食事付)が上限
- ・複数回利用する場合は、5日間以上の間隔が必要。

- ・利用回数は、原則として、3回までとする。

5 利用期間

- 第1期 11月1日(金)から10日(日)まで
- 第2期 11月11日(月)から20日(水)まで
- 第3期 11月21日(木)から30日(土)まで

※なお、旅館・ホテルの空室がなかったなどの理由で、上記の期間中に利用できなかった場合には、次の第4期に利用することができる。

- 第4期 12月1日(日)から令和2年1月31日(金)まで

6 利用方法(手続きの流れ)

- ①避難所(または市町村役場)において、備え付けの「台風19号による短期宿泊に関する確認」に必要事項を記入し、職員の確認を受ける(必要な回数分)。
- ②避難所に掲示された旅館・ホテルの中から希望する施設を選び予約を入れる。
- ③チェックイン時、確認を受けた書面「台風19号による短期宿泊に関する確認」の原本を旅館・ホテルに提出するとともに、代表者が運転免許証等本人確認ができるものを提示して宿泊する。

※ り災証明書の交付を受ける必要がある方は、上記の手続きに先立って、その申請・交付が必要です。なお、り災証明書の交付には、一定の期間を要すると見込まれることから、その場合には、上記5の利用期間の区分に関わらず、令和2年1月31日(金)までの期間で、5日間以上の間隔をとって、上限3回までの利用を可能とします。

7 確認書の交付

- ・ いわき市ほか9市町村で受付開始。
- ・ 計486件交付済み。

I 被害の現状

1 県立学校、市町村立学校等の被害の状況

被害	学校数	計
校舎の床上浸水	小学校5校、県立高校1校（うち川俣小(川俣町)、永盛小・赤木小・小泉小(郡山市)、相馬東高校は復旧中)	6校
停電	小学校4校、中学校1校、県立高校2校（全て復旧済み）	7校
断水	小学校38校、中学校18校、県立高校8校、特別支援6校（全て復旧済み）	70校

※ その他、雨漏りや敷地、附帯施設等に被害が見られる。

2 休校の状況

台風19号の被害等：休校116校(小56、中24、高29、特支7) → 10/24まで再開
25日(金)の大雨：休校13校(小9、中4) → 10/29再開

3 県内文化財の被害状況

国指定文化財の史跡等である「南湖公園」「白川城跡」「白河舟田・本沼遺跡群」の樹木倒木や斜面崩壊による被害のほか、25日の大雨により国史跡「白水阿弥陀堂境域」（いわき市）の排水ポンプ損壊、国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の祭場地（南相馬市）等に被害があり、あわせて国指定16件・国登録1件・県指定10件の計27件（被害額（概算）約2億6千万）の被害が判明。

II 課題及び対応の方向性

No	主な課題	対応の方向性・実績等
1	被災児童生徒の心のケア	<p>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー派遣</p> <p>■実績 スクールカウンセラー 8校に派遣 伊達市(梁川小)、本宮市(本宮小・本宮まゆみ小・本宮一中) 郡山市(赤木小・永盛小・芳賀小)、富岡支援学校</p>
2	公共交通機関運休	<p>県立・私立高生等のための代替バス運行</p> <p>■実績 10/23～ 14路線 平均 641名/日 (込べ2,565名) 10/29～ 7路線 平均 373名/日 (込べ1,868名) 11/6～ 2路線 平均約40名/日 ※ JR再開(11/16)に伴い11/15終了</p>
3	再開する学校への人的支援	<p>サポートティーチャー、スクールサポートスタッフ増員等</p> <p>■計画 サポートティーチャー 3校へ派遣予定 スクールサポートスタッフ 45校(小31校、中14校)派遣予定</p>
4	校舎等の衛生環境の確保	<p>被災状況の調査、清掃委託の実施、保健師訪問による衛生的課題への助言等</p> <p>■実績 相馬東高校において清掃委託を実施 保健師が、県立学校4校他を訪問し衛生環境を確認</p>
5	被災施設・設備等の復旧	<p>被災状況の調査、復旧計画の進捗管理及び予算の執行</p> <p>■計画 相馬東高校、好間高校等の被害があった県立高校で体育館床張替工事、グラウンド整備工事など合計約3億6千万円の工事を実施する。</p>
6	流失等した教科書・学用品等の手配	<p>教科書の速やかな再給与等・学用品等の無償提供の検討</p> <p>■実績 教科書 小中学校の教科書を市町村を通じ再給与を開始した 高校 特別支援も11/15から配布予定 制服 各学校が業者からの無償提供の申し入れを受け手配済み。</p>
7	被災文化財・図書の復旧支援	<p>市町村からの要請に応じて応援職員を派遣</p> <p>■実績 文化財 本宮市(10/23～25)30名派遣、田村市(10/28～30)39名派遣 伊達市(11/6～8)35名派遣 図書 本宮市(11/11～22)25名派遣</p>

No.	主な課題	対応の方向性、実績等
8	被災文化財の復旧	国庫による補助採択に向け、市町村と連絡調整を行い復旧を支援 ■実績：被害状況を確認し、国庫報告。

Ⅲ 県立学校、県立施設等及び市町村公立小中学校の被災状況(主なもの)

1 県立高校、特別支援学校

No.	方部	高等学校名(所在地)	被害状況等	復旧
1	県北	福島北高校(福島市)	ボイラー煙突倒壊	
2	県中	田村高校(三春町)	校庭等崖崩れ	
3	県南	修明高校(棚倉町)	ビニールハウス破損、倒木等	○(倒木)
4	相双	相馬東高校(相馬市)	校舎1階浸水、断水、停電	○(停電・断水)
5	相双	相馬農業高校(南相馬市)	農業管理等シャッター等破損	
6	相双	ふたば未来学園(広野町)	校舎裏フェンス一部倒壊	
7	いわき	いわき海星高校(いわき市)	屋上防水シート破損	
8	いわき	好間高校(〃)	体育館床上浸水	
9	いわき	聴覚支援平校(〃)	校舎雨漏、浄化槽浸水・逆流	○

2 県立施設・出先機関

No.	施設名等(所在地)	被害状況等	復旧
1	あづま荘(福島市)	地下室浸水(雨漏り)	○
2	図書館・美術館(福島市)	書庫・通用口(雨漏り)	○
3	教職員公舎(いわき市)	1階浸水	

3 市町村公立小中学校

No.	方部	市町村	学校名(被害状況等)	復旧
1	県北	伊達市	小国小(校舎浸水)	○
2	県北	川俣町	川俣小(校舎浸水)	
3	県中	郡山市	永盛小・赤木小・小泉小(校舎浸水)	
4	県中	石川町	石川小(法面崩れ)	○(仮復旧)
5	県南	白河市	関辺小(校庭土砂崩れ)、東北中(ガラス破損)	○(東北中)
6	南会津	下郷町	下郷中(裏の土手崩落)	○(仮復旧)
7	南会津	檜枝岐村	檜枝岐小中(地下浸水)	○
8	相双	相馬市	中村二中(断水、太陽光パネル破損)	○
9	いわき	いわき市	平四小(断水)、小川中(校庭冠水)	○
10	相双	富岡町	富岡一小、二小、一中、二中(飲水不可)	○
11	いわき	いわき市	湯本三小(校庭土砂流出)、赤井中(校庭土砂崩)	○(立入禁止)

※ No10、No11は10月25日(金)の大雨による被害。

Ⅳ 県立学校及び市町村公立小中学校の休校の状況

1 県立学校 なし

※ 台風19号の影響により、休校していた県北地方(5校)、県中地方(11校)、会津地方(6校)、相双地方(5校)、いわき地方(9校)の県立学校は10月24日(木)までに再開(最大36校(15日時点)中、36校)

2 公立小中学校 なし

※ 台風19号の影響等により休校していた伊達市(21校)、川俣町(1校)、本宮市(3校)、郡山市(5校)、須賀川市(1校)、田村市(1校)、塙町(2校)、相馬市(13校)、南相馬市(4校)、いわき市(29校)は10月24日(木)までに学校(最大80校(23日時点)中、80校)再開
また、25日(金)の大雨により28日(月)休校した相馬市の公立小中学校(小9、中4)は29日(火)再開。

台風第19号及び10月25日の大雨による国指定等、県指定被害状況について(被害概要集計表)

令和元年11月12日17時現在

千円

No.	市町村名	指定等の種別	被災文化財	種別	台風・大雨の別	被害状況	被害額(概算)
1	桑折町	国指定	桑折西山城跡	史跡	台風	法面崩落、史跡内道路洗掘、土砂の流出	500
2	伊達市	国指定	宮脇廃寺跡	史跡	台風	土止め2箇所崩落	1,200
3	二本松市	国指定	二本松城跡	史跡	台風	園路等の崩落	調査中
4	白河市	国指定	南湖公園	史跡及び名勝	台風	石碑の傾きや、樹木倒木、大規模な斜面崩落が見られる。	59,231
5	白河市	国指定	白川城跡	史跡	台風	樹木倒木に加え、市道沿いの斜面崩落、河川沿いの斜面崩落が複数箇所で見られている。	127,081
6	白河市	国指定	白河舟田・本沼遺跡群(谷地久保古墳)	史跡	台風	・東側斜面崩落(A=594㎡)	21,142
7	泉崎村	国指定	泉崎横穴	史跡	台風	台風通過直後、玄室内部に若干浸水あり(浸透によるもの) 欠落、汚損等の被害はない。現在は水はなくなっており落ち着いている。	0
8	棚倉町	国指定	棚倉城跡	史跡	台風	北側土塁の一部(土塁中腹、現在遊歩道として使用されている箇所)において、延長約6m・最大幅10cmのクラックが発生している。	調査中
9	会津若松市	国指定	会津松平氏庭園	名勝	台風	御茶屋御殿の上の間の雨漏り、トイレ前廊下の吹き込み	調査中
10	会津若松市	国指定	若松城跡	史跡	台風	若松城の干飯橋内部の漆喰壁の亀裂・一部破損、天守閣4層床と天井の一部雨漏り、天守閣5層の窓ガラスより雨水が浸水	調査中
11	磐梯町	国指定	意日寺跡	史跡	台風	指定地のうち、既整備地区内のウッドチップ舗装園路脇に立つ杉1本が根元から倒木。樹根が園路下層に延伸していたため、倒木の影響で一部区間(約3m)が崩壊した。	調査中
12	南相馬市	国指定	桜井古墳	史跡	台風	樹木幹折れ(杉の木2本)	調査中
13	南相馬市	国指定	旧武山家住宅	重文(建造物)	台風	土壁剥落	300
14	南相馬市	国指定	「相馬野馬追」の雲雀ヶ原祭場地	重要無形民俗	大雨	祭場を構成する走路等の土砂流出	40,000
15	いわき市	国指定(国宝)	阿弥陀堂(白水阿弥陀堂)	国宝(建造物)	大雨	基礎の漆喰部分が一部浸水(水が引いた後は、目立った被害なし)	0
16	いわき市	国指定	白水阿弥陀堂境域	史跡	大雨	境域内排水ポンプ、園路木杭破損、園路土砂流入等	9,000

No.	市町村名	指定等の種別	被災文化財	種別	台風 大雨	被害状況	被害額 (概算)
1	南相馬市	国登録	ススキケジウウツ 鈴木家住宅	登録(建造物)	台風	トタン屋根破損	50

1	本宮市	県指定	テンノウキヨフンシツド 天主壇古墳出土品	重文 (考古資料)	台風	埴輪20点、壺1点が泥水に浸水	調査中
2	石川町	県指定	カノウチ 中の内のフジ	天然記念物	台風	フジの親木となっている枝が強風により折損したため、フジの一部が毀損。直下は家屋(小屋)であったが、人的被害及び物損なし。	調査中
3	田村市	県指定	サクマヨクサンワサンケンケイ 佐久間庸軒和算関係資料	重文 (歴史資料)	台風	資料の浸水	1,012
4	白河市	県指定	マテヤ 町屋の二本カヤ	天然記念物	台風	樹木支柱破損(2本)	660
5	泉崎村	県指定	カンヤママカクモツバ 観音山磨崖供養塔婆群	史跡	台風	磨崖仏自体に被害はない。その前を流れる二瀬川が増水した模様で、両岸が激しく抉られている。史跡見学には危険であるため、現在立入禁止としている。なお、復旧は河川管理事務所にて対応する予定。	調査中
6	会津美里町	県指定	ミヅノチトセ 米沢の千歳ザクラ	天然記念物	台風	枝を支える支柱が外れ、倒れてしまっている。	調査中
7	相馬市	県指定	ナカムラ 中村城跡	史跡	台風	本丸北側の一部地滑り	調査中
8	南相馬市	県指定	オダカ 小高城跡	史跡	大雨	北側斜面の崩落	1,000
9	南相馬市	県指定	イノイ 泉の一葉マツ	天然記念物	台風	枯れ枝の一部が折れて落下	100
10	浪江町	県指定	ダイショウジ 大聖寺のアカガシ樹群	天然記念物	台風	大聖寺本堂北西にあるアカガシ1本について、枝が2本損傷した	調査中
※「台風、大雨の別」の台風は台風第19号、大雨は10月25日の雨							261,276